間の態度は挑戦な腕くな が決定するのなまつがな が決定するのなまつがな

で一致官さが出席する極線である。別国側でも公使は出席せず總額

質別 英能が氏の後

多分八日の際語で決定をみる事さ を分八日の際語で決定を兼してるるが 補者多数の多め決定を兼てるるが

決定行惱む

東拓總裁後任

日本側も暫く傍觀

種囘避

はかどらぬ圓卓會議

蔣介石派大喜び

を動て鞍御史上選すべ、孫大万世

1日の耕光館、陳原宗

事は既総艦の最高指揮に続いて店 も既に集中して居り事堂上十九路

同じく窮東人、東無線の生れ窓中 原東人舎連線の人、其次が群光服

様大元郎の唯一の

が平場の大幅な数極し が平場の大幅な数極し

軍長紫送精が表職に乗り出したも、城中であつた、それらの関係から

所謂廣東鐵軍の沿革

十九路軍の組織

程限人も逃げ避れ燃死した之れは一始とた を選り、要が低いでは電像を強い のけされがため歩略は電像を強い と表として関するとは、 を取り、 をのり、 をのし。 をの。 をのし。 をのし。 をのし。 をのし。 をのし。 をのし

西衛三安を際都さして西京さ呼ぶに式第二次食器で信都と概し、院

H

蔵に常添中の部隊に関し映解を選出さより女郎軍を殺戮したので 東京六日教】陸軍省では上海が 去る一日來上海附近に於ける眼

増派部隊は存置す

陸軍當局談

便衣隊なた潜入

我歩哨に爆彈を投ず

一國に首都三つ

ものは既られてゐる

祝賀會

支那紙の虚報

南京でも戦勝

西安をも首都と決定

事を決定した。

右は野外情勢に應一五日午後矣

五百年後突蜒全市に取って観時間 でながら呼ばる保つてぬた南京は時間を保つてぬた南京は時間の大きの大学を表示を表示しているためでは、

拒絕に意見一致した旨を告げ、日本案は鹹玉熈僧に悪くもので協定衆主

正式拒絕の意思表示ななした

行政委員長 汪精衛も南京の羅文幹も公使 からケリー提督 に提示した四ケ

日本軍撤兵せれば

が何なる行動に出るかも類知ら が軍過去の事質に鑑みて何時 であるのは勿論であるけれ共

停戦を無視して

が法なを協議して居り太既の空氣 居るのか異様は不明であるいで居る一方山西軍勝鎮らは秘密 て満蒙鏡に出兵するか日支配した郷を開始し豊俊兼行殲壊滅逃を念 は機然緊蜒して居る山西軍が寒し

洛陽會議で

廣東派慘敗

大地回復

か、平津進出か

動き出す

なほ攻撃し來る支那軍

我方は對策を協議

蔣介石の

部下二

馮玉祥監禁さる

十九路軍援助に赴く途上

蔣の地盤擁護策か

圓卓會議につき顧維鈞意見發表

租界の安全なぞ此際附けたりの以上交渉の餘地なし以上交渉の餘地なし

停戰事實照會

虹口ェ北四川路の

警備權を工部局に引渡す

光公使か訪問と同十時から

及び今後の軍事外交に關し我が

→五二教』周称省は際

するまで

事態緩和とたので本目から変和界、 と海六日髪』事他以來低日さ北 は四川路方館のエキステーションは、

行は画籍の如何な間はず製止すると同時に英租駅間様十時以後の通

に決した

は歩階を立て

(刊日

、正式拒絕を通告

支那側い損害

二萬五千

職なる数字が得る事団動なる海六日後』支那側の指密は未

英、米、佛三國公使に對

【上海六日登】前原の傳統野の除 德野 O 隊 戦死者の慰靈祭 南翔に歸還

にさゞめ今朝十時南 原及び破兵職兵各○ 際に持ちかへつた 蘇州江岸に ものた政なして航空 敵陣

時深の膨脹野の除が配っ野気中で りで残兵数百之れに振るを養見が の残兵数百之れに振るを養見が は、後漢間蘇州江茂に臨時地方 發見

真茹で盛大に塞

行さる

我軍の死傷

ある

者數

全部を通じ脱走兵が徐兵忠がは三 全部を通じ脱走兵が徐兵忠がは三

関目を整の採回租売における場合 の出を整の採回租売における場合 を放ちたる中國新聞に懸迫を加へ を放ちたる中國新聞に懸迫を加へ は、計算を表する。ものな處。 虚報新聞彈壓

あるは味かである

## 支那軍敗退事實 では、 一覧する事に決してが、 ないので支那ので表示で表示に決している。 一覧する事に決している。 一覧する事に決している。 一覧する事に決している。 一覧する事に決してが、 ないる。 ないる。 でもので、 ので、 ので、

漸く判明す

廣東に反蔣運動擡頭

「東京六日教」院東の諸新既は支加 類く同時に蔣介孺に對する非統高 会を顧く院職に執づきたるもの、 教も顧く院職に執づきたるもの、 教も顧く院職に執づきたるもの、 なり度構造就能。 、六日海軍 た 復活た意味するものである 陸戦隊の施療 好成績

義の

内容を改善~

#介では、変数長さする性を呼次し 地論の結果が二軍事委員會を新設 は、1年の結果が一軍事委員會を新設 を 名が乗り支那傷網者の絶線に努め 相常の成績を駆けてるる 東は職北一部の名注《を巡回と軍事は職北一部の地區は迅速に恢復しつ、あり、登戦氏と戦大に自家により始めてゐる、陸戦隊の巡回感院自動

小委員會を組織し 上海交渉を監視 聯盟總會と軍縮會議

ドの感激影通告は三同しか残って 七十午後三時半から聞く一般委員 七十年後三時半から聞く一般委員

合に然て一般計談を概行す七十年後三時半から聞く一

ボ希代表の

満洲國の對露方針

五日午後九時四十五分景

一匹用食して、急速に解決すると のみであつたが、サカーサ五日費 一般を いた、即ち總會は機衆の磁源は脚次解 いた、即ち總會は機衆の磁源は個な がた、即ち總會は機衆の磁源は個な がた。からであったが、新りシャ代表ま りチスの釋版論は機衆の磁流が がなまれたが、 を表する。 では、 ののであったが、 が、 が、 ののであったが、 が、 が、 ののであったが、 が、 でいた、 のであったが、 でいた、 のであったが、 でいた、 のであったが、 でいた、 のであったが、 でいた。 でい

年年後に再び總會な開かんと 露代表突如

であたが、突如これを削削した。 、であたが、突如これを削削した。 ・ 抗病この態度は注目されて居る た、めで非滿の日露脚像突蛇化の が高いのに違があっ 西園寺公靜養

(単東京六日教】昨日駿河遊の自邸 に入つた所閣寺公は入京第一日は に入つた所閣寺公は入京第一日は に入った所閣寺公は入京第一日は で人の誤職しなかったが、本六日 日本だ派間客なく教会は無 のようない。 

本山も訪問客の鎌定はないさ

芳澤外相

首相を訪問

法 政治 講

功丁るには此講義を讀むに限ります 經濟學

文部石や商工會議所の資格試験にも 行等で人一倍働けるやうになり、又卒業の實力が得られ、商店、會社、後此講義を讀めば容易に甲種商業學校 たやすく合格が出來ます。獨學で成

会日の女子は誰でも女學校卒業程度 「職を充分に養ふことが出來ます。」 「職がつき、容易に専檢にも合格が出 力がつき、容易に専檢にも合格が出 大学を表示され、 本、共外家庭の婦人として必要な常 であった。此講義を讀めば 「職がのき、容易に事検で等以上の實 であった。」 「職が出 である。」 「職が出 である。」 「職談を充分に変して必要なな。」 「職談を表別として必要なな。」 「職談を表別としてなる。」 「職談を表別としてなる。 「職談を表別となる。 「職談をなる。 「職 談を充分に養ふことが出來ます。







すく、卒業が早く、學費も安い。早とが出来ま 。講義は誰でも解りや力が得られて着々成切の基を柔くこ 稻田大學入學其他多數の特典があり

年ケー各 年二一學中期前 年五四三期後 星進謀議月毎・医査月費學

中學校卒業以上の學

此講覧を讀めず

講

特典を増加しました。 **人學の絶好機です** 

記念の 大學創 爲め V

第十九路軍さはどんな東歐かの職 たまりと 世産派は宛さ全滅させられたが、 世産派に分裂して戦争さなり結局 つて帰國人側に多く知られて居たなかつた、網の「鐵軍」の名によ

來たがこの軍隊が日本軍に全滅さ

彼等の誇る歴史 

概報を同二十四個長

密に喜ぶ蔣介石

・ 空つて居るが知く見られてるが、 空つて居るが知く見られてるが、

軍長祭延精が表職に乗り出した。 を職事をかは、変れらが何時、教皇を指するのであらうなし、変れらが何時、教皇を持ちない。 をかかました。この一九、経歴をかりまたす、魔鬼人の特別のは、この一九、経歴をかりまたす、これを尊してない。 をかかまいて、これを尊してない。 は発言では、禁死師にはでみりました。 をかまれた。 をかまれた。 をかまれた。 をかまれた。 をかまれた。 をかまれた。 をかまれた。 をかまれた。 をいまれた。 をいまなな。 を

とも甲込次病見本進量)

瀬野豫

右は掠奪を蒙つ

た邦人家屋、

左は市中の警備についた我兵【四】一面竣驛の上を飛ぶたわが軍用列車【二】我兵が歩哨に立つ一面竣驛【三】の

上段より【二】二

面城に集中

畵

(一藏特派員撮影)

▲仙波久良氏(政友會代議士) ■坂西利八郎氏(貴族院議員) ・日出帆天棚丸で天津へ

いいと

は 大日人 大日人 一次日子

皇店 横三階入口 1

形屋

わが飛行

泉の件

路開設の作

全議地方委員職合會第二日は六日 中前十時より加茂小學校課堂にお 軍派、翻察電談に失立ち軍人 軍派、翻察電談に失立ち軍人 で職職に對して十秒間の觀察をなる で、「大阪」、たの如く決定も

第二十五號議案(長春提出 第四十六號議案(長春提出 第四十六號議案(長春提出

第可。 一 一 一

滿鐵重要案協議

射止めた他波久良新 候補さして出馬、目 候補さして出馬、目

小師上は六日中原の庭な

米國からの

の頭痛にノーシンの

軍需品輸入

千八百弗

張でまた立候補の相手も提れ、

戦五月結現在人鼠一、〇二二、日 大風一七、小洋銭設付線一、六八 六風一七、小洋銭設付線一、六八 一元回收二、五〇〇元現在人鼠二 加入人鼠一日数三、腮返人龍三日 加入人鼠一日数三、腮返人龍三日 が出入人鼠一日数三、腮返人龍三日

大時より金龍亭に放て熊桃寰を張り盛繁神に九時城覧會した『奉天

て午後五時無事終り散食した夜は

東地委議長高橋直二氏の謝得ありな可決し議長閉會を覚し次いで安

首腦部が奉天に於て

さ長者よりの緊急動味さして提出

からヤマトホテル階下懸鍵室に参

府要路さ折断することに決定した 「大学のでは、」」では、「大学のでは、「ないは、「ない、」」」」は、「大学のでは、「大学のでは、「ない、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「大学のでは、「ない、」」」」

「大学のでは、「ない、「ない、」」」
「大学のでは、「ない、」」」
「「大学のでは、「ない、」」」」
「大学のでは、「ない、」」」
「「大学のでは、「ない、」」」」
「「大学のでは、「ない、」」」」
「大学のでは、「ない、」」」
「「ない、」」」」
「「ない、」」」」
「「ない、」」」」」
「「ない、」」」」
「「ない、」」」
「「ない、」」」」
「「ない、」」」
「「ない、」」
「「ない、」」
「ない、」」
「ない、」
「ない、」」
「ない、」
「ない、」」
「ない、」」
「ない、」
「ない、」」
「ない、」」
「ない、」」
「ない、」」
「ない、」
「ない、」」
「ない、」」
「ない、」」
「ない、」」
「ない、」
「ない、」」
「ない、」」
「ない、」
「ない、」
「ない、」
「ない、」
「ない、」」
「ない、」
「ない、

で 数の出述へ人で 数の出述へ人で が開墾には 社本が

太郎老はどめ多い大郎老はどめ多い

ん見せなが

日議事

四颗小一

語上程討論したが、相

政策を樹立せられんここか要望軽減する事を原則さして新税關輕減する事を原則さして新税關が協議と輸入税を

の三彩を一語上程と試験の結果のたれ、なほ出席季厳一同は午後六時からヤマトホテルにおいて意識會

の二語窓は可決、中食一時間後、

員待遇乘車證費給回數券議案(遼陽提出)

備軍並に警察官増加請似

の三家はこれを撤回

鄒

建設に着手せられんこ所は補鍵政策を基調さ

要の件並に右に関こ流線會社に 無助金申請の件 を可決又会主線より提出の 一、農業官替ります。

滿蒙

問題解決に

後≧献身努力

月中加入、脱退判無~現在転入し

口數六三五、村落和

化消粉殿質白蛋力强最

は實に强力なり

るエンチーム(酸素)にして

(絲狀菌屬)に屬する消化菌

新代議士 仙波久良氏歸連談

たづ第一に在渦各後接者諸氏の 発力が立つた地盤は東選以來民 政黨の業固な地盤で現在同地方 の緊脅議員十二名のうち十名ま

虾

腎備機関に多敗邦

本諸機関の統一

を要望の件

本に則り制定せもめられたき豪新國家の度杜衡取締規則な

第四十九號議案(奉天提出) ・第四十九號議案(奉天提出) ・東方要望の件

第八議案(松樹提出) 第八議案(松樹提出)

一般並に助成に関を滿纖總就議案(開原提出)

第二十四階人科

続議案(長春提出)

神に入り各種提出議案の歌談に神地方委員職合會は五日午後本

第二十リ

地方委員聯合會議事

約一時間半に亘る長時間の儀式で機式は總べて清朝時代の古式に則

太

リ十教項目に亘る嚴粛な興禮あり約一時美を極めたものと謂はれてゐるが儀式は美を極めたものと謂はれてゐるが儀式は 建國式後直 中央銀行令を發布せん

新國家が國民に對する權利義務の治籍網を規定する政府組織法及び

义書院設立加浦鎌倉社に

の標標である【奉天電話】 出し以外の直接投資を

態量関密時東北政権が私利私窓 る戦国式と同時に新国家の最高政験行に後の完備せる銀行である 満洲國政府では九日午後銀行され殿行と金融政報を祝ふ事さなつ / て来りたく 方銀行と金融政報を祝ふ事さなつ / て来りたく 方 各種法令を 

| 講演園の感園式は三月九日 るこささなつてるる【奉天電話】 午後三時建國式は九日

力要望の件

満蒙諸問題に關する

**重要議案審議** 

第三十四歳議案(本溪湖提出) 在浦土建業者の特権確認に関し 浦縄建設に進言の件

の三議案が決【奉天電話】

全滿地委

五六の曜日に真り素天に於て階盤 五六の曜日に真り素天に於て階盤 されたが提出課報半三十九四勝絜 聯合會 六日終了す

まるた際が共日本をヨリよい國にこれい心から述べられた論なのです男が生は行馬氏の論か続いられた論なが調子ハズの企動をされたのは世に事でする場合に行為をなった。 ■N生職力製作の会に対する有 ■N生職の論は能は、対議し

◆欧米視察に英語が

有馬氏さは同姓別人なる事をおった持つさ思ひます、終りにが確な等へを持つさ思ひます、終りにかのかけった思います。

旅順金融組合

二月中の成績

梶

ならば両洋人がスグ讃

ありません日本は ずに恥かしかつ た人からあちら 本崇拜者たれ

アリマ・ヨシハル

人は共國の電

常です外画で日本 紹介し様さしない 物が外側に

◆職米の物です。 取

石を使ふなさカ

て不便では、 なありません。 はありません。 で書けさのN生の説には一寸覧 ・1ますさ云つて起はロー ・1ますさ云つて起はロー ・1ますさ云つて起はロー ・1ますさ云つて起はロー ・1ますさ云って起はロー

て不便ではあるが決して恥辱で

手で書き込むいが微米語と語 外に概まるか日本語をロー 貴族院研究會な代表して駐浦軍隊 六日天津へ向ふ

いいます。 な大郎の軍能が関係によりの記者に 大川午後三時大連出紀の天郷鬼で 大川午後三時大連出紀の天郷鬼で 大川午後三時大連出紀の天郷鬼で 大川午後三時大連出紀の天郷鬼で 大川午後三時大連出紀の天郷鬼で 一度元潔に張ぶとたうへ旅路地區したった。一度元潔に張ぶとたうへ旅路地區りは天津、北平、瀬南、帝島を廻り 打選の考へさ同じださ答へるより 坂西中將は職草に「滿洲觀察の感天津へ向つたが、見送りの記者に

療診科族 地構二一町狭若市連大 (前院医男岩) 院醫科施森藤

博多屋本店質部城町八九四連筋角)

研究會代表

数喜渦まく長春 啡嗎片阿

勉强 二町 黒大市 達大一三五八話 電

(伊藤佐四郎)新滿洲の展望 (三島延夫) 奉天省下の村財政に就で 日本の新機關で滿蟻の立直し、田村羊三滿鐵改造私案補足 (林周仓 浦 鏡 消費組合の 撤 殷運動をめぐりて (赤木鮫弘) ◇ソ聯第二次五年計畫に就て《佐藤蓮男》日支網係の真相を (久松五郎) 新國家經濟の道(障暖差男) 蒲鐵改組の論様を拾ふ 新滿蒙に臨む陣容如滿鐵を如何に改造す 何る??

便定 錢十三

◇聯盟の不明度すべからで◇中東鐵路南部線の護護議会

記者の眼に映

◆浦蒙新國家成る◆浦洲の爭奪◆四つの國際聯盟◆文藝評論(大谷武男) た井上氏(中村猛夫)井上前蔵相の遺跡(内海治一)巨星地に関つ(川合正勝)日色 テロは何か篩ゆる(秋山噪蟬坊)暗殺不認の所感(佐藤四郎)上海事變さ各国の論調 語る(田所辨転)新天地春秋今井上藏相と白色テロー 新 社 憲替三四四四等

本の場合、まずさを作し、後期きしと前等ら与してきります。、只見ていたがとのお安い事な「解な行った」として、東部代はとは相當信用を有して居りますが今回版の海の政策部が設ける事になります、支那人間には相當信用を有して居りますが今回版のお安い事な「審査・ますごを作して展ります、支那人間には相當信用を有して居りますが今回版のお安い事な「表現」という。

ヒスイ、實石類 高のの語へ六一へき

借力の五三話電

本剤は特殊のアスペルギス が見科醫院

毛 糸 廉 賣

講習 電氣學被 公認東京野一色 公認 會員 松 田 大連電

山本洋行

蛋白質澱粉に對する消化力 大阪·東小·京城·大連 大阪·東小·京城·大連 東洋コンプレツソル株式會社確實なる施工請負者は鐵筋混凝土工の

監會社から日本に輸出された軍器 の輸出額は一千八百明に過ぎない 四に一九三一年度において来國の 四に九三一年度において来國の は、一九三十年度において来國の は、一九三十年度において来國の は、一九三十年度において来國の は、一十八百明に過ぎない

品機額は一萬二千兆である

山岡長官赴奉

電品に関する機称省の調査報告を 省は米国より日本に輸出された軍

満思麻雀倶県部

軍話二二三〇三

中時数率した十時数率した



呼吸器障害には

提替大通四二九六番 指標則電台北天 行

東正獺 神仙松葉食(松の翠)

建國祝賀

ハルビンの

行の殴りた歌して

口を割らぬ

六日發】滿洲里が配の

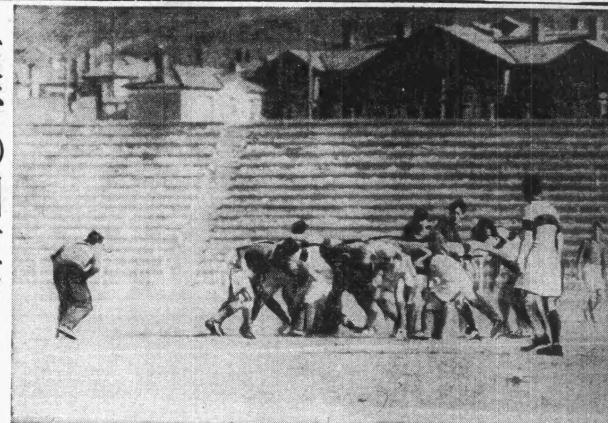
背後の

關係

頑强な團男射殺犯人

ボクラは

滿洲里方面



出願し他の井上氏欧紫頸事性の黙の出所手掛を得んため谷が配に継ばの出所手掛を得んため谷が配に継ばの出がいます。

所林功本牧流久福田見口 邊島桑 所林功本牧流久福田見口 邊島桑 居 森 漫木高

【寫真はラクピー版】

あせるリンデ

五日報八時四十電線を影響とたるにて高等器はいいいという。

る見込みにて確

捕虜こなるを欲せず

く銃殺さる

夢の御告げで

愛見を殺す

墜落機の有賀曹

愛兒取戾しを一任す

で大俣敗る

育成二二

一颗人

闇黑街王に

トキックオフもたが三十一野十八

東京六日登一覧手にたなれた画

弔問

内外名士の

湿動場において上月氏主番の下 マシーズン最初の大連俱樂部對省

初ラグビ

育成勝つ

事及び陸軍中尉西田力ミ元日本國 民際首献三田税次郎の職名を影響 人さして引致した

集の飯、敷百名に上つた概様式は た内外名士の根間索引きもゆらず ら内外名士の根間索引きもゆらず

ンの各意意を関す

職合で開北側網番

九時國際職副ロック北一帯を巡回して居

旅順でも

高

壓線を切斷

敵な四人組の兇賊

重大な使命を帯びるか?

#### 寗古塔に 團主 城

七里の山道を突破し

日

退職者かさらに

の中を分けて市中を堂々行軍後、午後三時三十分それと、常られた、後舎に一先づ入つた、市中は各々日歌牌を指擬ながら駐車が出班へ非常な観測機である、天野〇劇は展鯛に黒山の虹き観測の人田は趙族長、臧知事、融砕會長、影称會長、軍銀線、数常會長、管架顧長其能知名の土線三十名二時十八分劇味たるラツバの音と共に奪古塔市中に入った、支那側「電古塔六日神蔵特派員設」天野〇團は六日早朝海林を出發、午後 星軍來でまるでお祭り氣分であるの中を分けて市中を整々行軍後、午後三時三十分を 防禦陣地を築き 和戦兩様に構へる丁超 振大せす全く終止さた 兵速は一時験髪の販を呈し在が兵後 年 土岐參與官 馬占山と

を容に対き九日の親国式に参照する事になった を容に対き九日の親国式に参照する事になった

まず小沼正以上の頭壁機を帰じて 無行等物上目童並に元音機が學校 べきでない、するを秘受けたが日を織してピストルの出 中は使ら新事説を養見せず一方义 此方蔵から約一割の減乏けたが日を織してピストルの出 中は使ら新事説を養見せず一方义 此方蔵から約一割の減乏けたが日を被してピストルの出 中は使ら新事説を養見せず一方义 此方蔵から約一割の減乏にかられていてまたが年前 れ窓等流気の除地はなる 添五郎の時間では大日日曜にも常は 平八百萬間の添加建築 

一 【大阪六日景】 今朝代々木院践でた 愛国第四、第五職機は午後二時 の第に次編の途につい

形する歌ありさは誤解に著む、 のに大冷が内地航路に客職を をのに大冷が内地航路に客職を をのに大冷が内地航路に客職を

れ」を飲な思はせぶ



では、第五殿機は底に密都上空を一四、第五殿機は底に密都上空を一四、第五殿機は底に密都上空を一三十分で所郷に向ひそれより消消に 一四、第三線機は高等飛行後線





#### 中前十一時神戸六日發 東際十の際間を整めために出版する 東際十の際間を要保大務及ルツ教 主を開した。 を開いて、 を関いて、 をので、 新戦跡 名士續々上海に赴く 賑やかな神戸港の船出 見學に 大蓮寺檀徒

のPO汽船ラチブタナ就乗組ポー 天然痘患者 上海より神戸へ 市内春日町日蓮宗大連寺では上海町は整一世の大学の東京大連寺では上海 の上海皇軍慰問

然痘さ 刺明した 終痘さ 刺明した 撫子の大和 全部引揚げ で飲み七日出帳大連丸で同学住 戦器村端駅以が械信徒を供表し上 戦器村端駅以が械信徒を供表し上 米敷十俵、灌溉 、澤底、林橋等多販であい、一次では、林橋等多販であり、一般問品は熱問金のほか自

時死去した、享年七十七世 時死去した、享年七十七世 時死去した、享年七十七世 時死去した、享年七十七世 猫遊軒伯知近く

分、全市日支人

奥地擴張事業に採用

關東廳の新整理案

発達 音楽舞 過會

盛況だつ

るのは腫々傳へられ 貨客の吸収に努力せ 3 

所に新遊艦の建造を体証という。 に教総を配してこの敵艦のに教総を配してこの敵艦のに教総を配してこの敵艦の 江和外海村 網用機の洲満

\$

東京風菓子謹製

界各

图

酒

食

00

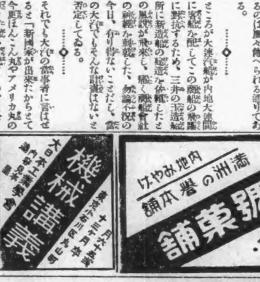
店

國を學げて進出の時:

パランス型 ¥2.80\*\*

· 生 申平2.00m

所作製木並が東京東 第上被最新省報・車器 新張別点を





事務 用派 トル子内 級 高

2オンス入 20セン

き古織な増配するのでは全人

て進用式執行 7.7万代此段謹告世紀7月八日午後四時年 仕攝<del>琢</del> 候津磨 一町大聖寺に於一殿逝去被致候

東株 洋棉花株式會社大連支店共生命保險株式會社大連出張所并生命保險株式會社大連派出員井、大連工人主派出員

四時代日の起の 日動車と電飾

の大親賀會を開 旅順の建國祝賀の賑ひ なほ常夜は淡思塔を始め市中 大、霓裳園、

実作りな女腕様ではある **・ 散々原間とた場句の果** のない我子の死鹽な警官 れや殺人罪

げさね再米お 上生菓子 △何程でも飛行式にお届け 開原 安湖州で 特等米 特 若狭町交番隣 等 米 五十五 二五

日本各

名

座

清作ミほ演

あ小大七海 わ
加玉味苔 の事の

命養◎

和音川サッマ温泉電話四十四〇番電信第三丁目電話九五四〇番電話二五〇三番 I 三九六十九 + + 錢錢錢錢錢

産 毛洋服裁縫所 電話六六五七条

王女の夜る踊に闇宵 チ ュ て ア・ネオンラ 營業所 世六九二八年六九二八年 き

ネオ

1

つ嫁

て

梁 野客と断州に定評あり 野客と断州に定評あり 関語と断州に定評あり 肝富油谷球の 憲似品あり無相球と 四甲基酮 三州/三和新坂赤京東 「秦 製 谷 富 村金 元東登 等小大車四山海西軍 第一八〇七元東等第

ネオン看板の時代蓋夜尖端を走る

せか時期発展的に得ばんさし似等の土地機上本樹館ダンスホールさ 告げで人称しなするなんて全く信じいもの、この文明の世に際の御 如きは蓄貨機に服裝の如きも随意の繁密をも伴はでオーケストラの るので管局に然ても脱光中であるさし至って階島な組織のものであ

脇

病に玉蜀黍毛

日本橋東局

二二三九三

東京女子醫學 彌生(鹭灣) 8號

ケ所に限り他の都市は継黙に記事 ・ 一次が表示、長春の三 ・ 一次が大連、紫天、長春の三 ホテルで出願 東京

**薄學校** 校 有がいる。 銘 高 数

かを。明するに足るものなり 単は如何に全柱月が其の品質の放群なる 原都島本醸造清酒にして開設以來最高金 金挂月 島本護造

**济洲總代理店** 入 藤商店

勃諭五十年

内地では非常に高家に関する所のは、 ち各方面で話題に上つてゐる滿 別に関する願意も三十七、八 村 財民問題、簡取引の為めの親暴 です、そのも相當多いが具體的のも ものも相當多いが具體的のも

で、あけみは大蔵にそばに称って た。あけみは大蔵にそばに称って た。あけみは大蔵にそばに称って

連 1044

ゆ

ら

る

のさころ無間に渡滅しては困る 神のてゐるが指伸々熱小で一 音楽りがしたいらもい今度 河つ 音楽りがしたいらもい今度 河つ なはパンフレット講談等機 での成立と共に發展されて心られてを 変について倒考盛されて心られて での成立と共に發展されること、 思のます、それから諸剛體の滿 といれているられて心られている。 思のます、それから諸剛體の滿 といれている。 といます、それから諸剛體の滿 といます、それから諸剛體の滿 といます、それから諸剛體の滿 といます、それから諸剛體の滿 といます、それから諸剛體の滿 といます、それから諸剛體の滿 といます、それから諸剛體の滿 といます、それから諸剛體の滿 といます、それから諸剛體の滿 といます、といまた。 といます、といまた。 といます、といまた。 といます、といまた。 といます、といまた。 といます、といまた。 といまた、といまた。 といまた。 といまた。

柞蠶ご畑作の減收で

蓋平農民の苦境

の債權者へ

観察して静途に就いた東京遊館報 た案の事務が合會に出席し非細さ た案の事務が合會に出席し非細さ

てるるわけでこの機會に業界の総 総合理化さ塩に外客に繋するサービスの感蟄を識するに最も適宜の 世界の感蟄を識するに最も適宜の はこては同業者の似が除りに勢過

歸つたら廣く

2 長、緊脱中央試験所及が古城子製御 医、禁脱中央対域所及が古城子製御 医、禁脱中央対域所及が古城子製御 が炭髄を選視し時齢を消光を いや今度栗原具が満洲各地の 現況か見て質った器で別に着 をして研究所を統轄とした各地連絡 の理況か見て質った器で別に新 をしい問題で来たついでに斯波名地の をしい問題で来たついでに斯波名地の をしい問題で来たので変に をしい問題で来たのでを をしい問題で来たのでを をしい問題で来たがよりではいい。テ キャスの満が安いから製油工場 をなんてこことは無謀な話で含地の は無所の方とがよりに所 を対している。 をがしる。 をが

滿家事情を宣傳する。

滿鮮案內所一行通過

観光客殺到を豫想し

土産業者の協定

旅館業其他も協調せん

暴利を貪る商人が多い

博覽會や開催する

今年秋、首都長春で

(四)

中本長春で ・時 書通出資口設工五九口、特別 ・時 書通出資口設工五九口、特別 ・時 書通出資口設工五九口、特別 ・出資口設工五九口、特別 ・出資口設工五九口、特別 ・出資口設工五九口、特別 ・出資口設工五九口、特別 ・出資口設工五九口、特別 ・一本九七名、二九九五日 ・市 一個機械情報上さなつてあるが、 ・本九七名、二九九五日 ・一本九七名、一十二萬十三萬一 「機械情報」となりな源無機を繋む、 ・一本九十二萬十三萬一 「機械情報」となってあるので、 ・一本九九五日 「機械情報」となってあるので、 ・一本九九五日 「機械情報」となってあるので、 ・一本九九五日 「機械情報」となってあるので、 ・一本九九五日 「機械情報」となってあるので、 ・一本九九五日 「機械情報」となってあるので、 ・一本九九五日 「機械情報」となってあるので、 ・一本に、 ・一本に ・一本に ・一本に ・一本に ・一本に ・一本に ・一本に を徹底的に命令 は、「優山」「「一大学」というでは、「優山」「「一大学」というでは、「一大学」というない。「一大学」というない。「一大学」というないましている。「「一大学」」というないましている。「「一大学」というないましている。」というないましている。「「一大学」」というないましている。「「一大学」」というないましている。「「一大学」」というないましている。「「一大学」」というないましている。「「一大学」」というないましている。」というないましている。「「一大学」」というないましている。「「一大学」」というないましている。「「一大学」」というないましていましている。「「一大学」」というないましている。「「一大学」」というないましている。「「一大学」」というないましている。「「一大学」」というないましている。「「一大学」」というないましている。「「一大学」」というないましている。「「一大学」」というないましている。「「一大学」」というないましている。「「一大学」」というないましている。」は、「「一大学」」というないましている。」は、「「一大学」」というないましている。」は、「一大学」」というないましている。「「一大学」」」というないましている。「「一大学」」」は、「一大学」」」は、「一大学」」」は、「一大学」」は、「一大学」」は、「一大学」」は、「一大学」」は、「一大学」」は、「一大学」」」は、「一大学」」は、「「一大学」」は、「一大学」」は、「一大学」」は、「一大学」」は、「「一大学」」は、「「一大学」」は、「一大学」」は、「「一大学」」は、「「一大学」」 新田の東線画学軍線市会部参野和東市山来教育職を設置を設置を以下教育職を設置を以下になり、東京の東線画学軍線市会の東線の大学にである。 陳荆玉氏赴任

前吉林等政府財以職長繁厚の來吉に就いては能職の通りであったが既長常は今回長官公署内高等職職

日支協力して

のため我歌兵隊が旅遊して公場所で、昨年九川事塾以來是各城内の警询でき事務をさつてるたが新國家越設 も実に公安局の内容も充電し古代 ため來是して目下城内に臨時繁含 ため來是して目下城内に臨時繁含 首都の警衛 信ふさ 電記念日監日午前八時共同校に集 電記念日監日午前八時共同校に集 では三川十日の陸 の兎

に際しての記憶に飲み等である を記分配も引揚げこれさ合体する を記分配も引揚げこれさ合体する し五二職権内にある憲兵隊と合併 の献金業員

火事が多い 注意が肝要 四個四十五銭を寄贈したこれで總安東側指從教員一同は四十安東地 蔡正 公平川に集中 四百名

17

契約高多少に不拘御二話次第係員参上御相談申上ます

三井物產縣大連支店

電話代表七一〇大連市山縣通一

火災、海上、運送、自動車

險

日本順及び支那画の協力常大に努して来長粉呼ぶ地内に然て大事が観 下八名さ共にな は紫の部下四百名は大地が、野山の大地が、野山の大地が、野山の大地が、野山の大地が、野山の大地が、野山の大地が、野山の大地が、野山の大地が、野山の大地が、野山の大地が、野山の大地が、大地が、大地が、大地が、 より二十支里の地

工会議所に於る 時局市民大會 然で館谷委良會を職職と五日午後二時より職民大會は福州新國家庭

上司巡査軽快 一月二十六川脈がいてるさ 軽が殴かがしているので四日 をが殴かがいませる。 一月二十十八端香は世程全快したので四日 をが殴かがいるといる。 一月二十二十八端香は世程全快したので四日 をが殴かがいるさ

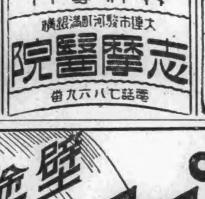
署長の

・ 動けみは相手の態度には一きい無い のはないであるなかった。 那の解愛をうけてゐたおよりの語はしげにあけみた見つめた。剛太 はしげにあけみた見つめた。剛太 けみの態度が腑に落ちなかつた。 男の心心間さながら、彼女は相続の心心間さながら、彼女は相続

なに思ってゐるのでは、私が何んてるたのよ。でも、より子をそんてといって、何時も心に思ってるるのでは、私が何ん る。あけみは岩川を背後にかくとが窓び足に二人は抱握をさいた。人験 「早くお焼りなさい。そして、

けみの後続からペンチのあるを懐けみの後続からペンチのあるをしまってすよ」 行った。回地の木鰯を纏って弾えて ちけみは野歌に一人ペンチの前 目の晩に、またこう







奉天の新國家祝賀

長春の首都景氣 二日間祝ひ拔く

祝賀會 營口の新國家

安東の背後地研究に

等をなすここに決定しる流洲国際で見かれて、 等をなすここに決てを哲祭日・東京に対して、 を手形に行列市民航資會文部、所に対し、 を行及提供が、 を行及提供が、 を行及提供が、 でで、 を行及で、 を行うが、 でで、 を行うが、 でで、 を行うが、 でで、 をできた。 でで、 をできた。 でで、 をできた。 でで、 できた。 できたた。 できた。 できたた。 できたた。 できた。 できたた。 できた。 できたた。 できたた。 できた。 できた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できた。 できたた。 できた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できたた。 できた。 できた。 できた。 できた。 できたた。 できた。 できた。 でき 調査員を派遣する

職に住民は東支運散並に野外貿易 支紛等以來販が外票され確ご体 支紛等以來販が外票され確ご体 漁業復活近し

人の二原地が多く毎年都近くなれば ・ 一般地は機化燃売装むの不能なここ ・ 一般であれて、一般であれている。 ・ 一般である。 一をである。 一を

技術權威の視察 奇特な鮮人ら

注目さ

斯波、栗原兩博士來撫

数化方面に出動せんとする際該通 車の出動以上めのため燃気に手管 を支給して齢宅せもめんさしたが のは動い上めのため燃気に手管 名な事集と関東軍に對し無報酬で 名な事集と関東軍に對し無報酬で 記の美郷を多さと過日軍の一部が 渡 巡得司郎氏 東城家

アハヤ大事に 5 

い業物一日を贈り盛 秘蔵の新川繁慶の

なに思って

「いいえ、あの好さ今さは違ひま

温突か

では、吸めてむさ新しい態を認

で、当地は難く若へてぬたが か平線で跳ふま、に喋れるのだつか平線で跳ふま、に喋れるのだつ

およりにすまないで云ふ

放送り

印刷

らず妖なのやうな笑を漏らしてる

自分の危急をのがれる気に、あけったも、いや、その外の概でいたようさ思い定めたこなられてのことがの概でのこ 場馬 院醫 八七五八話電·話播盤常連大

制産

株式會社 進和高島

佐藤建築事務 一級建築技師 佐 電話国八大士の番 武 所 天

發展する湯崗子に 郵便局開設を希望 政不順意の指摘教諭の見込立 不完全、智能は設八

に模擬戦

第二の戀人の心

林清勝氏入院 総山石動 地委聯合會へ 九時十八分養別車に 製造返しに、おけみに本名か云 歌曲返しに、おけみに本名か云 なるるんです」 さ果然さして訊いた。 手織を見たのですよ」 してあなたは私の名を知つ て訊いた。あけみは

身を触はこた。「何時頃の手織で 「もう一年も前の手紙ですわ。父

う、洋館の廊下で根ぞれを拾つた古い手紙をおよりが落したのでせ

大和

小學校 狩り

手織よ。程、あなただお二人の戀の心の概でを知つてるた。めてお逢ひになつた直ぐ其の後のます~~養くなつた。彼好賦のそばの読み屋を云ふ旅館で読。巻きつけた。あけみの皮肉賦のそばの読み屋を云ふ旅館で読。巻きつけた。あけみの皮肉 あったさ云ふのですか」

は対な無いを覧えるのだつた。気は対な無いでも、一時報本を忘れるよくがにはなる。しかも、鶏の腱にはかった。あくは膨ら見てゐる者はなかつた。あくは膨ら見てゐる者はなかつた。あくれるは大腕に男の扉に手をかけて

血が荒まどく難り狂つて行く音が は美とい然してゐることが――皮癬の下をして為め 熱してゐることが――皮膚の下を 『共樂』四月號の素晴ら

講談俱樂部三月號湖洲

少女俱樂部公司號北村 紙型の雛棚がある

中ッ能山高石

川<sup>ル</sup> 田久原 商商 洋商洋 店會堂行會行

弘小平金小上 關本泰 (人 大樂洋洋 商洋 堂店行行行行

長公職 春嶺嶺

二三七四

M 七會

No. 60

〈詩底(奉天より)

「大交大」

か聞えたが、しかし、あくまでも ¥ 60.00

んさへ彫知してくれ

野想多

-

提供 一回金御拂と同時に現品先波 發賣元 築 榮

シア蓄音器

(218)

高級瑞西ジュラツ

おける我代

封策に

(日曜月)

側氏の後任

が大い では、水田の総合では、水田のの総合では、水田のの総合では、水田のの総合では、水田のの総合では、水田のの総合では、水田のの総合では、水田のののには、水田のののには、水田のののには、水田のののには、水田ののには、はのは、水田ののには、水田ののには、水田ののには、水田ののには、水田ののには、水田ののには、水田ののには、水田ののには、水田ののには、水田ののには、は、水田

「なってその地口で見せていたいなが勝で話してゐるのであったをがいているのであった

「指派の酔がありますかな」

■ B このお除で味いはよく配れたし、今朝は対策を提して何ともいっない住い気持です。

「いや、あれは……いや、あの時

たままりせる

も佐殿代表更めて静いさするや議長イーマン

停戦調査に

で料に駆け云った。

「地阿は松が預つて置きます。お

きませうし

グットからざるか得なかつた。

事が異のBが響手しながら至か | 本版を贈めてゐたがお知り | 本版を贈めてゐたが

れたる以助者かねへ

見せすることも出来ません」見せすることも出来ません」を行りなのには依然であった。

貴郎が小夜子さいふ女を、 これいかり

お早う。今度は驚いたら

虚報を難詰

般委員會

聯盟の權威尊重强調

委員會散會後 佐藤代表語る

特別委員會設置か た佐藤代表は転食後

佐藤代表態度賞讃さる

政りつ取られつ(四) 支那可水端子の支那融店の妻で

かけて行き、墨の有場所を探しま

伊藤順三

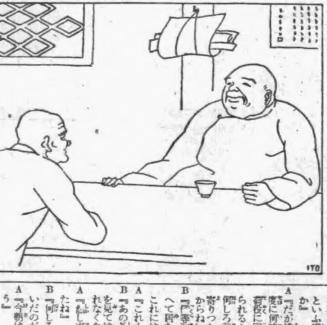
210

おおり上これに出席す 【上海五日登】 支那側は今好に登したり上これに出席す 【上海五日登】 支那側は今好に登ったが、支那側も指繳會 (大が、支那側も指繳會 (大が、支那側も指繳會 (大が、支那側も指繳會 (大部である) (大が、支那側も指繳會 (大部である) (大語である) (大 により問題は丘海に移 文那遷延し得す け戦交渉を 上海事件解決近づく 死傷二萬五千 後感器の選起は許されずがには

『ワシントン五日数』四日の特別 整教に規定された日支保機振興。 書の性に関し来政府も之に参加す るに決定し、米政府は昨夜在上海 本アジア艦隊司令官テーラー提督 本アジア艦隊司令官テーラー提督 本アジアを終し、米政府は昨夜在上海 本アジアを終し、米政府は「中夜在上海」 米も参加

ですつて!地圖を私に見せないん 総貨廠の登載をあげてるたが、「ナ、何んですつて、見せないん」この家は美蔵――世間態を懷

参戦した總兵數は八萬



出工二十名からて之が復復に合 地奥ふ 地奥ふ 事を経へた安那人門前市をなし安 一般解院を南朝に称し即記の質権支 を検察したが、之を を対象を始めたが、之を を対象を始めたが、之を を対象をがある。 には本目野 民衆感激 皇軍の施療に 支那へ向ふ 米四山師飛行家 周歌隆るは用歌の は用歌を は用歌を は用歌を は用歌

| 本事制候報による 真茹無電臺 全~安全

何なです・・・・・同志のです。

…同志の我々ぢやア

ありませんか!」

敵の主力は

、 【上海五日数】五日全総各方面共 製版なく本観、祭の駅は悪かに戦 を活び得す通信後落のためまべい しましに対名の支那巡撃を呼ら出 たさび得す通信後落のためまべい しました対名の支那巡撃を呼ら出 たさせる事さらた

「東京五日登」御軍将では今回網 院航さして処軍港にある特が職室 室戶上海へ 病院船として

間に取り食器した を容集して全後の を容集して全後の を存集して全後の を存集して全後の

有する事か経験に関してべる。 を指する事が経験の軍隊又は海豚でなる。 を指する場が配験の軍隊又は海豚でなる。 を指する場合のでは、一般のでは、 を行うない。 を行るない。 を行うない。 を行るない。 を行うない。 を行るない。 を行るな。 を行るな。 を行るない。 を行るなな。 を行るな。 を行るな。 を行るな。 を行るな を行るな。 を行るな。 を行るな を行るな を行るな を行るな を の概本銃建直とは然論必要。 0

・ た、 起の子分の学さい ふ寒を、 歌とた上に繋が続け、小を下 なー」 りましたー」 程が? 何か莫迦 

でするまく概念版権際活識を振り

が、子も、南部も部字ださ知ったので 大に、館の書籍へ様入し、様の他 大に、館の書籍へ様入し、様の他 大に、館の書籍へ様入し、様の他

B『何ともありまんせんとこの近と

行と解を叩いて見せる。 作せ我慢と見た人は強いいなた。 はかなされているならば歩むのですが できなは、一型の歌等に用いるならば歩むのですがは、ことが出来るのであります。 できなは、一型の歌等に用いるならば歩むのですがは、ことが出来るのであります。 では一般



▲ 三 治 効 総 ・ 通常の コリ・うちみ ・ 通常の コリ・うちみ ・ 通常の 二 リ・うちみ ・ 通常 の 二 リ・うちみ などろ とれたBの際に 兵の増加露支國境守備

表態度

【モスクワ四日教】 参良政府機関 (モスクワ四日教) 参良政府機関 (モスクワ四日教) 参良政府機関 (法中立的) 度か持して来つた (法中立的) 度が持して来つた に浦洲で行はれてゐる。而して に浦洲で行ばれてゐる。而して に浦洲で行ばれてゐる。而して **勞農機關紙論評** 

露國內債發行

所は五千萬ルーアルの内國優養( 所は五千萬ルーアルの内國優養( 甲板で拾っ

事務員Bの對話 三等運轉士A

上海事变余涯 つた話

一地久節 大き帳所, 新生殿が単位では六日地久部川で午前十下から、着ケ代令眼後理算、就首短語を讃、窓管の脱合眼、御匙を取り、 大き帳所, 新生殿が単位では六日地久部川貨

が発なさで長巻末するのお祭り職 歌ばがの転像、職時休業しての誕 を始め監目は各戸国旗を撮跡し続 を計載してゐる。滿洲嶼は附版 節をなし飛貨合場の電影

全部は夜の美観な添へるためイ 々には大國族の交叉やアションを襲ひしたほか市

前の歓迎アーチも六日完成とアーの恐怖を進めてゐるが日本郎は騒 喜し思索してゐるとは事實である

新国家首都長着は九日盛興の銀行 押し寄せる 人の波 張氏が捧ぐる に三四人宛

を飾の市民は恐ちく全浦で一番紅」の手に黄金の側面を揮撃し、執政 宣に登表するさ同時に執政政伍の感動の市民は恐ちく全浦で一番紅」の手に黄金の側面を揮撃し、執政 宣に登表するさ同時に執政政伍のには避帰ら総る管、この千載一 歌画式中の執政政伍式は東北行政 はこれを新国家の組織法及び人憲同様叛內目拔の場所五億所に電 ゴリノニ・教 政 宣 哲言式 の 模様 『黄金の

れてゐるが本日米國の十州官談はれてゐるが本日米國の十州官談は後既に五日を纏るも未だ る【奉天電話】 リンデイニ世 誘拐事件 全〈五里霧中

滿御二十九歲の 地久節御祝典

首相以下拜賀に参内

東京六日教』六日は泉京院下清河二十九巻の御遊殿に離る 『東京六日教』六日は泉京院下清河二十九巻の御遊殿に離る 『東京六日教』六日は泉京院下清河二十九巻の御遊殿にかられ 『原正歌勝是以下谷野戦郎館、親邸館以下、公職以上の交滅館 『原正歌勝是以下谷野戦郎館、親邸館以下、公職以上の交滅館 『原正歌勝是以下谷野戦郎館、親邸館以下、公職以上の交滅館 『原正歌勝是以下谷野戦郎館、親邸館以下、公職以上の交滅館 『原正歌勝是以下谷野戦郎館、親田館以下、公職以上の交滅館 『原文記録』、「日本の本書」、「日本の御遊殿に離る **御殿歌等は遊ばされずに哄撃太屈麾下。徐常宗さ何昭説の御窓化者振歩者に踟躇御殿かをけるせられたが本年は時局観視情で御祕鵬に致かせられ午後一時には柳原二位局を弱め歌して「影戦の御沙広があつた、正午天皇陛下、内戦王殿下さ** 

背後に人物が居る

8

色めく警視廳

総武職務行党施が決定、日本総空山造にフォッカー銀客機に依る北山造にフォッカー銀客機に依る北

財閥を狙つた所が不審

完全に急所

小沼、菱沼ら五名で

東京六日豊一郎疾歴無半器被人 さ歌既非緊張人数器は二月八日共 東京六日豊一郎疾歴無半器被人 さ歌既非緊張人が高い、 を研究してゐるが同人は小窓が大日本 と、「人家軍職に入家するや郷里で日蓮宗 た一般を構成してゐるが同人は小窓が大日本 に入家軍職院野から行五名で細點 に入家軍職院野から行五名で細點 に入家軍職院野から行五名で細點 に入家軍職院野から行五名で細點 一般の那種野大二〇三人他一名と 大河一味の部間院の一人である 大河一味の部間院の一人である 大河一味の部間にある。 を構成してゐた。 に成家種様に対家でよるに の場合を襲じると の場合を襲じると の場合と の場合と を持ち、 の場合と の場合と の場合と の場合と のの部間に のが高して居たが のに を持ち、 のに のに のが、 のに のに のが、 のに のが、 のに のが、 の 拳銃の出所 組織してゐた血盟隊

諾威首相逝く

推入政治

**藤井高店** 

話の

心題

間

諜

からお早くから

快書館

樂

スカット氏は本日懲我

クな計画を大使順参事官が本日 【ベルリン五日数】所務省はモス

ので非戦され四者の戦力に

側忘れなく

狙撃さる

B日曜一名あり霊殿は郷銀に低歌 おの影者を出て野に三日夜又一名 の影者を出て野に三日夜又一名 られてある安東にえる摩袱臨後を一代を発展の歌出に徹底の歌節に動

腦脊髓膜の流行 より 患者すでに九名を出す 猖獗する が知恵を終してるる市中に加て経々憲廷の が知恵を終されが疾跡を動してるる したを歌されが疾跡を動してるる が知恵を終め、微説能でした生だ法 を解析をの思考及び家族等の、防止 が知恵を終め、他説をあるの他種々



これ

ぞ偽りなき名畵の眞價

二初日日

滿

員

し御ま禮

す

群小映畵影をひそむ。好職と人類の中心・六社競 御禮・・・・

亡生報國の愛國精神に泣け御禮申上げます。●全篇● 3

値上せず卅錢

阿 彈

戦に参列の光琴に浴する新国家要が決定した。めこの歴史能響が決定した。めこの歴史能響 のの全土要人等は八日早朝長科響を あが、これら新國家要人全部は同 を驛に出迎ふ

さころ全く五里籍中である、

家人を縛り上げ

酸お力も同 〇〇隊長の

八日午前六時歩武堂々と海林 一日午前六時歩武堂なり野り 一日地に院ぶ事さなり野り 一日地に院ぶ事さなり野り 一日地に院ぶ事さなり野中 一日地に院ぶ事さなり野中 一日地に院が事さなり野中 一日地に院が事さなり野中

出入するので近隣者に迷惑をかけた影響に歌動を強ひ常に無難の徒が

日襲五時頃西南がにむけ移動した郷に繋力谷舎に出でず一波して五

現金三千圓を强奪逃走

奉天松島町の六人組馬賊

阿片窟の主人

大連連鎖街が下カフエー女給後藤

方委に救はる

総の簡果五名は主人筋を配行と水 を擦ばす立ち去らんさしたので野 を擦ばす立ち去らんさしたので野

氣の毒な女給

苦力に殺さる

が興氣分漲る長春

集り

人三面谷口は

野瀬川の種様であ

白騫山

四の風睛一時要

天衛隊就

衰弱

法方

双城に出沒

八日の朝までに全部揃つて

た命質さし記述の上その個大連に 一点 国人は去る一月二十一日ごろ を命質さし記述がに 国人を教き之 で、国人は去る一月二十一日ごろ を命質さし記述がに 国人を教き之 で、国人は去る一月二十一日ごろ を命質さし記述がに 国人を教き之 で、国人は去る一月二十一日ごろ を命質さし記述がに 国人を教き之 で、国人は去る一月二十一日ごろ

人野○團主力

六日朝寗古塔へ進發

和 昭

七

Ξ

七 月

> 得たさいつてゐるさ 観光七百四十個を成被した価格一般地本久太郎氏は市役所を通じて 酸山本久太郎氏は市役所を通じて である。 鐵兜七百四 十個を献納

が三名は安園より他は裏口より歌と、七番地食料品店職田歌店に何れも 全年地食料品店職田歌店に何れも 全年の大人職の支那人監督で

■ 入し家人を纏り上げて物道の上現 では目下全力を駆け狐人殿様中 では目下全力を駆け狐人殿様中

【公主稿】 頻が応北一條第一丁目 | は一日午前十時死亡した

遼西の討伐を完了して

部下の兵變は

申譯がな

露古塔で

趙芷香と語る

では効力ある常なく而も製師は鍛砂線を求めたが一二個の診療技薬

々病味な見郷い自ら野師に交徴し、悪幡元善氏は給りの氣の書きに整

各度は引きを索り

沙

てるたソレル見兼れた附近

って疾患日に難く歌乱なる疾の

間病機についた切りで

滋强

室に苦悶な欄け青来

価順附近の

徹底的に討伐

療患者さらて聖愛病院に戦容さの情折りに使つてこの四日から

清月

の事になった

大商同窓生懇親會

野長や長潤市社會縣長さ談残しる

へ危険に関るのでが配委員山市付かすこの艦成化する時は生命にもなられて見てか其後少しも

**台京三年介有中寺** 白鹿一本二十五後的一

三十名は亞和亞局機選事務官引率 省より清冽に膨速される野頂敞百 省上の清冽に膨速される野頂敞百 派遣警官除 京城が通過

喜びの爆發に

湧き返へ

る長春

首都オン・パ

v

によりは、満人の磐礁で下脈地、 一三人、四人さいふ合管であっても を飛ざなく大渉艦を楽してあるが も飛ざなく大渉艦を楽してあるが して片田舎であった長裕は一脈 が成水で要すずかった長裕は一脈 を発しておりますまた像家 を発しておりまた像家 を発してあるが してお田舎であった長裕は一脈

近く試験飛行を行ふ

東が海心衆、標盤北が高橋子等後 東が海心衆、標盤北が高橋子等後 東が海心衆、標盤北が高橋子等後

態でれば全部深を焼き搬ふべしさ

空中高家來る

学江野

=

夕卜

事言

鎭江の新橋梁

野力しつ、あるので選くも四月二 ので微製就は全力をあげで竣工に がなく三日全材料も破骸した 四月二十一日

の暖気に繋まれ目下着々連携中で「江橋に佐るを加へる銀江橋架梯工事に乗機が、で満洲八里、東東」安東花の銀江山に一色窓「十一日頃

のさ一般から脚

治士士士

東京

| 江橋に佐つて花の安東を訪れる人 『東京六日歌』五日頭夜はよる子 本に人以下家族並に三井頭役以下 一百餘によってよかこめてもめや かな通夜が行はれた なってあったのか拾ったなど出館 夜、二百人 出演し住民に繋し撃銃運撃の艦艇南王都能破し終五十騎等の爬艇脚南王都能破し終五十騎等の爬艇脚 元にかけ孫権別外塔連奥地に四日の後に脅迫戦な送って后り尚四日

上下兩列車に挟まれて 保線區員の殉職

戦なく窓に破費したので変響なく窓に破費したる時は到底急に停車する は果ない映感にあつたので変響 

府の責任

典田胡詰宮

河口京町七二 電 話九二 五六

し、當方獨占的確實なる事業擴張のため御考へに成られて居らるゝ真面目なる御方の五六千圓程度の遊資を御持ちに成つて何か確 百聞は一見に如かず乞御來談を(仲介謝絕) 確實なる事業をご 御出資を仰ぎた

自東洋映畫職講習會

頭痛

建 版 街 帽子店

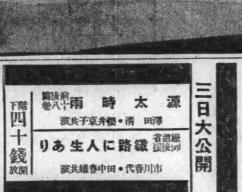
進級學生帽子特價提供 中學生向 小學生向 大大位置

松

りと新荷着安養 一質目に付 商店店 全 =

御柱文次節単連が届け致します 勝城 町 五一 内地 知 5

に渡く治療せるめ、頭面明快、た変と治療せるの人。不健、難多に関い人の表に扱うの現に不思議にかつは、人の様子の現に不思議にかった人の様子の場い人…………………………………………………………………………… 程度に置む人の数を返却にあるが、一般表で知りません。



命

**内疆三勇士** 藤馬は強い 太時雨 中央映画館 字 0

春のた題か 感な C 11

暗息疾咳根治の皇漢藥 常の六代、「質、六郎 特約専資店 大然。 大連市聖護衛四丁目二 大連市聖護衛四丁目二二 屋置堂

倉家 せきの良菜 逼

な倉家秘楽

石界6開祖 声湍大理后至場 電話九九三〇番

向 0 山縣流 岩 崎

大連市西連(常監傷或(計局) ・電筋穴七五二番・

寫

努めて来たのである。 書籍に、ボスターに、或はビラに 数は、ボスターに、或はビラに である。 にそのいるとこと の他線ゆる手段と方法を以て梅日に 弾することは出来ない。これまでの 連することは出来ない。これまでの

肉彈三勇士戰

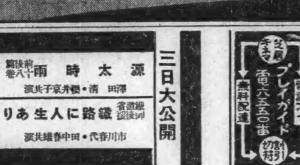
ステーデ新築

平手 先四段へ建部和歌夫 四段▼市川 一郎

## 亚海域洲漏泥

油醤ンマーコッキ

へ立確の則原理料 望待の等我



◆日間では、一方イド

X 27

B 彼女は問題さしての任務を書つた。だが女は女 ロボットではない。 関奴さ属られ、裏切者さ 責められても、資赤な懸に生き度いのだ! 封 スタンパークは通り一遍のロマンス作者では切

電話五四〇九季中

今春流行の 澤山入荷致しました

三彈肉烈忠。 一十五年 ・ 一十五年 一十二年 一十二年 一十二年 一十二年 一十二年 一十二年 一十二年 一十 文 呪 戀 狂 の子昇間後さ光寺頂吉



整店 にあり

ッキング材料

英國ターナーアスペスト會社製
英國ターナーアスペストパッキング
「モトパッキング(一名パルメットパッキング
「石植板、石棉系類
「石植板、石棉系類 太

商 大連榮町

元

體3887-5798番

電話六六〇六番 但馬町西廣場上

8

局

粧品は 9

三座六 一通六丁三りの目

を 品記 念 **新版** 

取扱店 地方 満日支社、支局、各販賣店を具件はこれを廣く收集して特に時局の記念に、或は研究材料に供本写具帖はこれを廣く收集して特に時局の記念に、或は研究材料に供取扱店 地方 満日支社、支局、各販賣店 電 一部金三十五銭

DOK

は著衛兵十生柳大樹 演生郎三徳嵐・母楽浦松・耶高賀道

本日の番組四日よりでは、一下で四十分を選出では、一下のを表示する子のでは、一下のを表示する子のでは、一下のを表示する子のでは、一下のを表示する子のでは、一下のを表示する。

中途半端は いやなこと 中途半端は いやなこと いつそ

これが完全に些の危險なく、直然局所に作用して減酸を現て 大概は終離力の峻端、微炎作用を有し、微差性に いかります。 本無は終離力の峻端、微炎作用を有し、微差性に いかります。 本無は終離力の峻端、微炎作用を有し、微差性に いか、個原士をしてこれに高費の確佐額を配合して、微便で安全に一般に使用をしてこれに高費の確佐額を配合して、微便で安全に一般に使用をしてこれに高費の確佐額を配合して、微便で安全に一般に使用をしていた。

猛烈な淋菌を根本なら死滅でしむる

ブラオン銀の驚異的發見

(日曜月)

淋病は内服薬で治らぬ

H

满岗

# 前東京吉原遊廓吉原病院長佐藤祭 大先生の努力

#### 州 帝 國 醫科 大 學 旭 憲 吉 博 士 0 發 表

**攝護熊炎、叉は副睾丸炎或は關節炎の併發を赴し、或は罪なき婦女子に感染し、家庭の悲惨事を惹起せしむる等取り返しのつかぬ結果となる人が餘りにも多いの** る内服査薬に頼り、 |内服寶樂に頼り、疼機排門等が止まれば、全快と誤認し、その儘放任してゐる内に再發又再發を繰返して、嫌では淋病は不治なりと諦め、ずは何等かの機會に總で淋病に感染して、一定の期間を經過すると自覺症狀が少なくなり、爲めに難務に追はれ根治する事の出來ない姑息的な手段を選ぶやうになり、遂に多数あ 今まで淋病薬で、 實に氣の毒に堪へぬ次第であります。之れ一つは從來淋病治療に對する信賴すべき特效薬がなかつた無限にもとづくものであります。 發見と稱するものは多数ありますが真に學術的に見て醫學上の新發見なる言葉を許し得る治淋劑は殆どありませんで した。

が、 「概報は内服薬のみによって全治するものに非す、源性はる鍵盤 れて居りますが、これ源に要素が変の動かすべからざる、定説されて居りますが、これ源に要素が変の動かすべからざる、定説されて居りますが、これ源に要素が変の動かすべからざる、定説されて居りますが、 もなつて居ります。商注制薬等も、参照整置されて居りますが、 もなって居りますが、これ源に要素が変の動かすべからざる、定説されて居りますが、これ源に要素が変の動かすべからざる、定説されて居りますが、 研究 部 部 0 大家の電戦組 数点者諸蛇よ 如何に 散気に依つて も

絕對安全な局所療法

をでき版は、き旅に際して砂臓を供はない版であります。 をべき版は、き旅に際して砂臓を供はない版であります。 を、使用に歩へないし、悪流にすれば発顔力が粘められるから、 使用に歩へないし、悪流にすれば発顔力が粘められるから、 を、使用に歩へないし、悪流にすれば発顔力が粘められるから、 を、使用に歩へないし、悪流にすれば発顔力が粘められるから、 を、使用に歩へないし、悪流にすれば発顔力が粘められるから、 をでき、になるに洗臓には健康を使用して、を、 をですることがあるから、一般に履所が出てるたのであります。 のであるが、ケンゴールは近のであるがら、昏睡でさへ控脈や練の人は、他々にして凝液を共に水酸が後部原道に送入して寒睡度炎、 なれて窓に使人にし寒液とは心臓が必ず、から、昏睡できへ控脈や練の人 をすることがあるから、一般に履所が出た。 をですることがあるから、一般に履所が出た。 を明に成功したのであります。 をでするとで、から、昏睡できへ控脈や練の人 をですることがあるから、一般に履所が出たが、から、 をいても成り返しの附かれ結果を整めて、 をいてもないのであります。 をいてもないら、一般に解析を活として寒睡度炎、 をいてもないら、一般に限所が出たが、から、 をいてもないら、一般に限所が出たが、 をいてもないら、一般に限所が出たが、 をいてもないら、 をいてもないら、 をいてもないら、 をいてもないら、 をいてもないら、 をいてもないら、 をいてもないら、 をいてもないが、 をいてもないら、 をいてもないのであります。 をいてもないが、 をいて、をいがるを、 をいて、をいがるを、 をいて、をいがる。 をいて、をいが、を、 をいて、をいが、を、 をいて、をいが、を、 をいて、をいが、を、 をいて、をいるのであります。 をいて、をいが、と、 をいて、をいが、を、 をいて、をいいのであります。 をいて、をいが、を、 をいて、をいいのであります。 をいて、をいいのを、 をいて、をいいのであります。 をないが、を、 をいて、をいいのであります。 をいると、 をいて、をいいのであります。 をいて、をいいのであります。 をいて、をいいのを、 をが、を、 をいて、をいいのであります。 をいると、 をいて、をいいのでありまな。 をいて、をいいのでありまな。 をで、をいいのであります。 をいいのでありまで、をいいのであります。 をで、をいいのでありまな。 をいると、 をいる

効

力

井

幾

八

のの疾法も各人各様であって姑息師 が法以外には何等特殊の方法がない、殊に婦人の戦疾に對しては極い、殊に婦人の戦疾に對しては極い、殊に婦人の戦疾に對しては極い、殊に婦人の戦疾に対しては極い。

大語に歌歌しついあつたものは観響 はさして種々あるが音々な映家が はさして種々あるが音々な映家が

究所養體のブラオン銀ケンゴールは、戦争の職佐藤年忠及臨成警では、総計になく、反つて完全に治療に得るのであります、健訴研究、副軍対義等を依養であるからない。後のて振戦戦災、副軍対義等を依養であるから、 とのであるから、洗験戦等の処とったと共に、 礼蔵が後部に送入しのであるから、洗験戦等の処とったと共に、 礼蔵が後部に送入しのであるから、洗験戦等の処とったと共に、 礼蔵が後部に送入しのであるから、洗験戦等の処とったと共に、 礼蔵が後部に送入

上柳治療わらん事を様に神治意明上る次等であります。低が現て突全なる事を保護班します。決して御歴念なく御安心の低を現て突全なる事を保護班します。決して御歴念なく御安心のに破死し、継野に職働を呼て養滅したのでありますから、継野は 

豫想以上の成績

蓉

0

權

威

實



職を行つて見 是 重 を重してがいるが、は、他の三十九名は悉く性がした。 を重してがいるので、展道総関には、数学では、他の三十九名は悉く性がした。 を重してがいるので、展道総関にであるので、展道総関にであるので、展道総関にであるので、展道総関にである。 を重してがいるのでが良かして、大きになり、では、他の一でかって、のであるので、展道総関には、地震である。 を重なり、関係である。様にこれが特徴としてがいるが、は後部展道表を建し更に包し炎。 を事である。しかし、被疾者の多く でいるのである。とかし、他所とこれが特徴として、 を重なり、関係によるものは、地疾者の多く でいるのである。とかし、他所とこれが特徴として、 でいるのである。とかし、他所とないがした。 を関する。とかし、他所とないがした。 を関する。とかし、他所ののであるが、 のである。とかし、他所とないがした。 を関する。とかし、他所ののであるが、 を関する。とかし、他所と、 を関する。 を なくそれ以降である事



●薄紙を剝ぐが如く

扱

東京府下代々幡町

信

所

く無之あらゆる治淋瘍な服用せる人物をく治療を行び候ぶ効果様をも

前は影響にての

0 學

する次節です。 
一学を関係している。 
一学を関係している。 
一学を表示した。 
一学を表示した

がと治療 さい

大連市演選叫一 B 本一四七 小丹高门玉健實中交婦主大新 學 **杂** 

療法として發表せら、尚紹和六年現代及下雄辯等に代理部推覧として五頁に亘つて發表せらの發見として發表せられ強刑が講談俱樂部及の實士等の記事に『ブラオン銀』ケンゴールの合本剤一度競見せらるゝや昭和六年婦人俱樂部、趙二八五眞四頁)の記事で効り絶大なる『ブラオン録

理

見

よ

-

賞

激質を重ねられし記事を發表せられば川戦文與春秋及ガール讀物號(指三共八頁)の記事で淋疾に 五川號主婦之友(四頁)に於て淋病治療に强大なる效果ある。ブラオン銀の發見として激質に

臨床醫家は

0

證明

7

型型 走

边藤英三郎

が如き詐欺的作り事でなく「字一句が原文の儘であります。「々楊載出來ませんが左に掲ぐる書紙は名前以外は恭聞にある日々机上に山積の有樣であります。紙面に限りがありますので發表後間もないのですが、全袂の感激に消ちた禮狀や感謝狀が

◆同病者の友にも

**閑院參謀總長宮殿下** 

以上交渉の餘地なし、以上交渉の餘地なし、上海事

御祝電を發せらる

派遣艦隊司令長官に

間により陸軍の作職か容易ならとめ毗な潰滅し大に皇膝た實敵前上陸に適切果敢なる協力に出で就甲離上空軍中に於ては

黄渡鎭の 敗兵掃

上海事

決まで

會と協力すべき」を發表した。

復活ル意味でるものである が、之は脱東派の製版で酵の天下 が、之は脱東派の製版で酵の天下

多大の撮影を受け良山大倉展州附 がに兵力を整理中である機様第十 九路軍司会は畠山に第五軍司会は

今日は跪続園

泣き笑ひの珍風景

傷病兵の光榮

御菓子を下賜

職兵職は協力して目下これを振ぶ 百の職職兵ある見込みで我軍歩 野の職職兵のは、日下これを振ぶ はなるというでは、日本の場合のでは、日本の場合のでは、日本の場合のでは、日本の場合のでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本のでは 日本のでは、日本の

ジュネーヴの一般

密に喜ぶ蔣介石

職長に表現のでは、大人となって、 を表現して、 をままり、 をまり、 をもり、 をもり、

蔣介石派大喜び 路軍全滅に 所謂廣東鐵軍の沿草 氏は本!!の表願に

来たがこの軍隊が日本軍に全場に概を突きしと政府乗つ取りし がためには精神や張科らが背合でない。この軍隊ある 十九路軍の組織 彼等の誇る歴史

好成績

東は職北一都の教送々な避職も事 り、恭養氏し版大に印象に宗少婦 めてゐる、陳殿職の郷晩親院申訴 めてゐる、陳殿職の郷晩親院申訴 が、恭養氏し版大に印象に宗少婦 の大いのは、「一年の神殿は迅速に恢復とつゝめ

激論の結果流一軍事委員會を新騰一

【東京六二教】昨日駿河鑑の白郎 中橋内相の 議會出席問題

文部石や商工會議所の資格試験に

行等で人一倍働けるやらになり、又卒業の質力が得られ、商店、合社、銀比論義を讀めば容易に甲種商業學校

陸戦隊の施療

文學、政治經濟、法律の三共義は、大學教育の普及を圖り、新時は、大學教育の普及を圖り、新時、別解記は懸切り解記は懸切り解記は懸切り解説は懸切り解説は懸切り解説は懸切りとが出來る。とが出來る。 功するには此講義を讀むに限 たやすく合格が出來ます。獨學 文學表

# 央、米、佛三國公使に

正式拒絕の意思表示をならた 、 洛陽の行政委員長 汪精衛も南京の羅文幹も感。 重一公使からケリー提督 に提示した四ケ

顔代表の虚述 忽ち覆さる

圓卓會議につき願維鈞意見發表

日本軍の戦闘行為なしと 各國司令官ら報告

『ワシントン五日教』國務省は極

くなり反素運動帯大表面化するの一般と同時に無介在に對する地級高知と同時に無介在に對する地級高

【南京六十景】事是黄松以來不安

日章旗

蔵を絶叫

祝賀會

南京でも戦勝

つきジュネーガに種々の換料が 「上海五 に 登」 我軍の黄波連続に

員相發表

停戦協定を密議

松岡重光田代氏ら

零は依職總定國際關係治安総接が。に一歩か進める総成が見え始めた使田代泰謀長等は今颗九時より午 なりたるため関原會議基礎家総定使田代泰謀長等は今颗九時より午 なは職弊機會の空氣安那に不利に上海五十分 松陽洋右氏動光公 法等につき総議した機器である。

討伐軍の

派遣案可決

五十分イーマン委員長司會の下に アメリカ公使ヒュー、ウイー時総會一般委員會は五日午前十時 【ジュネーザ五日教】ヌイーリンス・サカ日教】 国際職監職 米 國公使の 發表

洛陽會議で

洛陽第二次中央大會 廣東派慘敗

**涌快な大連丸土産話** でれにスルー/ さ場 幅は空ん旅がしてぬました何れ を放い、思はすな楽組 にしても胸のスク様な好い銀持 を放い、思はすな楽組 にしても胸のスク様な好い銀持 にあび二妻小銃弾か見舞はれた を放い、思はすな楽組 にしても胸のスク様な好い銀持 にあび二妻小銃弾か見舞はれた をが地の焼打ちで きうです 

西園寺公靜養

談を充分に養ふことが出來ます。 來、其外家庭の婦人として必要な常

僅か一ケ年半で女學校卒業以上の實 の學力が必要です。此講義を讀めば

今日の女子は誰でも女學校卒業程度

名質共に日本一の講義録です。

南朝の西方統十キロ)が配に前述と、常的つて午後三時終了とた。 「東京五日發」陸軍管着電、長崎 た加賀楽継派軍少佐矢部定五郎氏 小戦 派遣車は続して夢定、南朝、龍茹 の概像は五日午後二時より青山祭 夢定の西北が統十キロ)が配に前述と、常様以下關係者参列と合概者の燃 事が、近右 と称で、東京五日後 まる二月五日上海 「東京五日後」まる二月五日上海 矢部少佐葬儀

軍司令官が聲明 

できたが、突撃これを撤職するやう できにおいて変調するやう これは本國政府からの注意があったいめで北流の日陰關係実態化の 十氏は本日の一般委 でがいこれを撤回した。

市が破害した ・ 本学の平和恢復に努める事

ボ希代表の

日伊司令官怨談

へ判明す 表を帰動する裏面には便事か確監 が容地において職勝就質にかり群 が容地において職勝就質にかり群 が容地において職勝就質にかり群 あるは瞭かである 虚報新聞彈壓

紙い虚報 

名養、三丁を原東の諸新職は支那 『東京六日登』 廣東登、六日海軍 軍の總退却、吳淞の落城が揚げ民

**廣東に反蔣運動** 

擡頭

移民事業は

東拓でやりたい 奉天特派機關主任談

入學の絕好機です

義の内容を改善し 周年記念の 特典を増加しました。 んめ

早稻田 大學創立五十

が立を廢して

兵制大改革

服制も急いで改正

# 几日首都長春

ある満洲國越國の式與感慨は全部自出度終了な告げるものださ灰曜する《奉天電話》 は歌國に関する警官、賞言、法令の教表等ななも、最後に脱賀の饗宴が行はれて、に歴史版に急襲 國際練呈式等に引き織き感情中の感慨たる趣図式が行はれ、その間極々脱消にもて古典的なる儀式おれ日常都長巻において寒行される清洲関越國の式與順岸は執政挑戦式に吹いて減騰にの執政戦任式、九日常都長巻において寒行される清洲関越國の式與順岸は執政挑戦式に吹いて減騰にの執政戦任式、 溥儀氏、就任を快諾

張景惠氏の懇請を容れ で感謝さにより一緒するべし… の一般に大きない。 にかないして答べながら、佐藤浦 れ等な気酸酸に移植し水田の緊接 は称一東四千人に及び監局では、 は称一東四千人に及び監局では、 は称一東四千人に及び監局では、

敢ず一ケ年間試験的に政務

満蒙諸問題に關する 重要議案審議 地方委員聯合會議事

本月未論京の豫定であるさ 避難鮮人が水

> 江西共產軍 杭州攻略に進出

◆ローマ字使用の影響に繋する情 悪N型耐火の論は配泊く理識し まとた耐が共日本をヨリよい園 にもたい心から述べられた論な のです県N型は行動氏の論な難し です場がは行動氏の論な難し です場がなったなめか調子バス いの論駁をされたのは憧い事で す有場氏はや必要な外面交面は

じ鐵道株、化學工業株は一弟乃至 は強額筋質ひ業みで配る活案を坚 は発剤筋質の業みで配る活案を坚 しまする。 一湖丁梨株五十種の平地 B 本崇拜者たれ

すらさは傷中



紐育株式市場

强氣筋買で活氣

殿の験名化粧説名を使ふ

て不便ではあるが決して恥呼で

本人は続日本式で探信される事 生職です呼ば日本の世俗智慎記 は職です呼ば日本の世俗智慎記 ポですが同で日本人は北崎常ですが同で日本人は北崎

ありません日本語が話せたすに恥からかちちのコトバが

◆歐米の物とし言へば何事

がる人はるても支那蒙古な旅し

部の日本を全世界に紹介す

が法さして日本語をローマ字

てゐるN生は歸りに幼稚な老へ 有馬氏さは同性別人なる事をおを持つさ思います、終りにかの 数以來その大任ん遂行とつゝある 整備記念帖刊行會では鴻洲事變物 千六百九十二個に比で七人九枚にして一月の十三人十八枚一萬年形は六人九枚四千六百二十二十二十八枚一萬 七十関五十八銭の減少

ッ別品向青年會食堂に於て酸素俱 製部月個會本開催することさなっ たが参加希望者は左記剛氏に申込 れたとさ福島玉一(電話二〇、二 二三二、四〇一三)井奥敬一(四 明大校友會

第二十

を付け滿洲號峡金左の妲し ▲二百個日本柑橘甲華民國輸出 報合大連支所、滿洲青果共同看 受組合▲八十七錢朝日小學約三 年一組水谷寬宏、木谷茲、高板 渡、栗津三郎 四日本社受

の二来は変遣が記 の二来は変遣が記 の二来は変遣が記

からヤマトホテルにおい

一日議事

一般社會政策的與關文は滿鐵會

電に鎌倉家決議権の附続案(奉天提出)

▲淵脇敏氏(鴻鎖上海事務所員) 灰太氏(内務)同長) 五日朝

同胞に對する滿纖會社の對策を 滿潔新國家成立後における在滿

齊診科遊 地掛二一断狭若市連大 (前院医男岩) 院醫科滋森藤 借力の五三話電

博多屋本店質部

で山西等在宗教理事態集重要を職なて山西等在宗教理事態集重要を職な 二丁二五八計電大番一三五八計電

不渡手形減少

(久松五町

(伊藤佐四郎)を (林周介)滿鐵治:

山岡長官赴奉

日本

0

◇ツ聯第二次五年計畫に就了

新瀬鐵豪を

◆流蒙新國家成る◆滿州の甲班◆四つの國際聯盟◆文義。評論(大谷高 た井上氏(中村猛夫)井上前隊相の遺籬(内海治一)巨星地に隕つく 語る(田所耕耘)新天地春秋〇井上機相で上 テロは何を篩ゆる(秋山碰蟬坊)暗殺不認の所感(佐藤四郎)上海挙變さ

社 装著三四四四

全流地が委員職を含は五日午後本 会議に入り登職振出勝窓の歌歌に なった。先づ

第四十八號譜案(奉天提出) 第四十八號譜案(奉天提出) 本諸機関の統一 局全部を特別委員に附近すること 野菜取締法の改善要望の件 野菜取締法の改善要望の件

備軍並に騎祭官増加請願 深一貫軽価道路開設の件

邦人有識者が名をその居住する 野治に察興せらむるここを新政 構文は軍部へ要望の件 構文は軍部へ要望の件

散議の結果諸場一 重に討論に入り、左の処く決定と 単線、警察管及び海鏡社員の戦死 で職に對して十時間の默察をなし が職に對して十時間の默察をなし が職に對して十時間の默察をなし が職に對して十時間の默察をなし 等市内軽信の支那鍵道空情除 納岡家建設率祝アーチ(ト)長 過്(上)長春驛前に工事中の 歌喜渦まく長春

の二語案は可決、中食一時間後、

上権認容に関心滅滅會社に促
十六號議案(長春提出) 製造せず、 民職設の事業はなるべく 廃止 でいる場合はこれが教済 しい。 では、 のでは、 (法陽提出) 日午前九時豪急行で北行
五日入港大連丸にて來連 ての不名をであるこ それの流行が国されてのものが非文明

H

なべばし大きい一つの不名誉を追かれて実施のない。▲日本はその意味におい 剂化消粉殿質白蛋力强最 を来糠に繁殖せしめて得た を来糠に繁殖せしめて得た ある。 蛋白質澱粉に對する消化力 小兒科醫院

長者よりの緊急動議さして提出

駆破層男が同じ非業の運命に能

は實に强力なり

東洋コンプレツソル株式會社織筋混凝土工の

教賣元 辦試藤澤友吉商店

社意でべきは明治維新以来これまたことは。いろくくの意味においたことは、いろくくの意味においたことは、いろくくの意味においたことは、いろくくの意味におい

の頭痛にノーシンの

毛 糸

賣

山本洋行

講習會員募出

盾豪新國家の軽備機關に多數邦 第二十二號議案○傑日提出)

第され

の三點を一括

歌行も併せて軍閥の獣居な継ばに、 就低さ同時に会議する事になった。 就低さ同時に会議する事になった。 就成立同時に会議する事になった。 地政の指揮権下に統一すべく執政 合省巨頭は

八日までに來長 馬省長は假寓借入れ 建國式は九日

時に決定した『奉天電話』 研究會代表

同融電の水長用向は九日午後一時 素シにて行はれる元龍地球、敢低 高家屋の備入れのためでその家屋 で入れについては張繁長に一低に がしたさ、なほ野出山の長齢を 大したさ、なほ野出山の長齢を している。 郷南の張樹縣氏も同道して来長す 七日午後三時二十九分の製定だが 大したさ、なほ馬出山の長裕着は 大したさ、なほ馬出山の長裕着は 六日天津へ向ふ

さ、しかして馬出山氏の來長さ

依然跳梁するテロ 外國はラテン系民族に多い

第他の振戦事性、又今度の延行さ 第他の振戦事性、又今度の延行さ

「一番の結果市製なる滿銀客 で村上緩濱部長が十一日養 産業路と排動することに決 集、新要會議を開催したが からヤマトホテル際下順接 からサマトホテル際下順接 滿鐵重役會 首腦部が奉天に於て

滿鐵總裁着奉 日 る 本歌総者に繋じてか何なる理論 あり中、また今回の繋が繋じてい何なる理論 何なる欲慰及び認識の所素なりや 全の軽軟は別問題さして、城の が乗じてがでいる理論

力其他に数する反抗心がその代 満島麻雀俱泉部 湯島麻雀俱泉部

滿鐵重要案協議

特許されますい一型鉄筋コンクリ

一般により、 一般により、 一般により、 一般により、 一般でしたが、この 一般でした。 でした。 でした。

思想上の不能性を始め

具店帽三階入□ 角洋家山

其正願 健康增進

呼吸器障害には

仙松葉食 (松の墨)

大連市標準町二二・標準大連四二九六番大連市標準町二二・標準町電か北入横撃大連四二九六番

両村、郡、野 局長室に駅波 でいよりさ

遺骸、自邸へ

上段より【一】一面に集中したわ

軍用列車ニー我兵が歩哨に立つ一面城驛ニニの右

畵

(神職特派員搬影)

左は市

養備につ

いた我兵【四】

一面坡驛

の上を飛ぶ

b

九

【東京五日参】『野の墓儀は八日

八日に社葬

銃丸を摘出



脅迫狀が

小沼の犯行を

言足等が聊せ楽じて飲漁の酔を追った。 島軍は町の中央通りに在るれた。 島軍は町の中央通りに在るれた。 場際機能四級印令部前に車を止めたがそれと知つた旅長期芹香を上がいる。

浪速町の火事

長校 集事提生

東京女子醫學專學校

古岡彌生(鹭灣)多葉 紫語

實家で

犯人は自動車運轉

の部下し入込み掠奪強なを恣まで規定兵に繋かされ最近は王徳

來て困る

酸相の追憶談

本居得民家屋に敷養し物養剤とた本居得民家屋に敷養して

各方面の感想

合議制採用か

# 拳銃の出所を調査 男暗殺事件

の事情に就き財職でを職給した 俗たが小器のヒストルの出所たる 俗たが小器のヒストルの出所たる ルはアロー の多年の我財界に貢献せる弥繁に電の写めに燃れた財界の巨甌膨脹を通の写めに燃れた財界の巨甌膨脹

親友と判明

國家のため

選組につき左の如く語 犬養首相語る るは誠に痛

日

乳の上深く 盲貫銃創 の決死隊以ら

は小海と同郷職村であり又変海 健藤野射総事做が趣つたので他 逸べたこさあり念のため捜査中 かべたこさあり念のため捜査中 がでたこさあり念のため捜査中 がでたったの共祀者がある。 小海が五、六名の共祀者がある。 変沼と小沼は

井上氏暗殺の際同行の疑ひ 日本生產黨決死隊員

主主選機帯準代金子子版部大將等では、大統衛部代で西政戦を光器外根で西政戦を光器外根

大なる不幸

七里の山道を突破し

ると戦化を逃走した王織根の部隊は四日党兼総市塔に便を除さなり現れ敵務會を二百の武権で取園商務會及び住民市街に出て日章旗を打振って歌迎した総融務會の継続に依實古塔まで七里の行程を突破午後、時實古塔に到着隊は堂々入城總署古塔六日發』六日朝五時海林を出發の天野〇團主力は徒歩にて

銀總裁談

伊藤少尉の盗難品か

ればならわればなる不幸

| 関男の餘榮

家庭には父徳

人は飛ご無かつたが皇軍の入城さ大に一野に家を開いてわが兵に飲また一野に家を開いてわが兵に飲むたちは祭が分である。

を撃げ

久原幹事長談

この種の事件には大阪其の據つこの種の事件には大阪其の據つ事件には大阪其の據つならればそればそれは見常遠ひの話だ全て不必る處が判るものだが今度と 發」政友會幹事長久院

口支全市民 新國家建設を祀ふ 祝賀式、旗行列、祝宴

二千圓を献金

記により賞母マサさんが石献金の

いた日調でいはて

遊覽案內改善

わが軍先發隊

海林に入

皇軍入市を歡迎して

市中は忽ちお祭氣

がきた。 の人を使つてるたが、このため自 をたけ説明には臨時館で概常を除 またけ説明には臨時館で概常を除 の人を使つてるたが、このため自 ならない。

なってもまつたそうだ(寫真はトラスト級も窓にペチャンコにトラスト級も窓にペチャンコに 配る、萬一の場合と考へなくた 関ラなって

燃送明が無責任に関リ勝ちさなりの人が使つてるたが、このため自

方面から非難があつたので

個計劃

南 

グラム

はその用心器い性轍の一概。 ただけに敷勢い 

安東特等米

各社の軍役職に腹窓が出来て安 を社の軍役職に腹窓が出来て安 を社の軍役職に腹窓が出来て安 無業界では、軽くも三井系の製が不振のため全然で語った げさね再米お

△何程でも飛行式にお届

お届けい

刚原特等米

· 成 升 成 升 成 .

五十五二五

三九六十九

4-

+

量

+

チュ

IJ

ア・ネオンラ

1

營業所

大連市西通八三

ネオン

サ

イン

てに

を

委員を駆げ

干四名、

「安川君、御承知のやうに数紙 居るのだから





店





望スンラバ

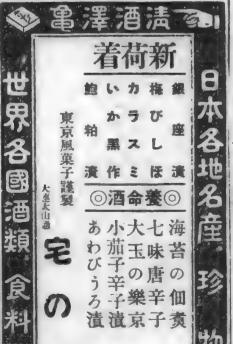
パイロッド高収恵赤掌

報酬 日示 トルイス 級 高

3オンス入 20セン

三井合名會! 昭和七年三月七日就では三月1 

東洋棉花株式會社大連支店三井生命保險株式會社大連出張所三井銀行大連出張所三井銀行大連出張所 大聖寺に於逝去被致候 提問日朝所連大





るる、希望者は職意態愛されたい。 ・ 機能に供じ年後は五時頃 ・ まで一般に能放すること、なつて ・ 大きで一般に能放すること、なつて 展画、損害さもに不明で歳みは に長の煙事の不始末からではな いかと言はれてゐるが何分同所 は繰り場であり時間も人の出盛 と時であった為め一時は非常な る時であった為め一時は非常な る時であった為め一時は非常な 機能では七二条戦が際一大商の時局展 

上生菓子
株理・連続街
大連市連続街
ダイマル菓子店
「一覧」 腎臟

本オン看板の時代要米獨專賣特許 王女の夜る踊に闇宵 尖端を走る 娘

病に玉蜀黍毛 日本株薬島

かを一期するに足るものなり祭は如何に金桂月が其の品質の抜群なる原都島本醸造清酒にして開設以來最高金 清洲總代理店 內 藤 商 店

銘 高 赦

島本護造

記念に建碑

『産属』 ※緊在軍事人分會では越来ませれる事業として全種、

『歸つたら廣く

滿蒙事情を宣傳する

方面を解説を形式を表でれ

温突から

アハヤ大事に

往來

**五**日來率

滿鮮案內所一行通過

の債権者へ

第一方。 地代全数地方に関した。

現然して暗盗に耽いた東京海蛇窓 た窓に事物抗合會に出席し小墳き 大窓に帯が抗合會に出席し小墳き

柞蠶ご畑作の減收で

蓋平農民の苦境

と、栗原中央試験所長さ共に六日 を、栗原中央試験所長さ共に六日 を、栗原中央試験所長さ共に六日

に出張した に出張した に出張した に出張した に出張した に出張した

長春輸組の 二月成績

匿名で

百圓を献金

注目された

技術權威の視察

斯波、栗原兩博士來撫

観光客殺到を豫想し

漁業復活近し

土産業者の協定

旅館業其他も協調せん

本のはいてあるさ を終いし、変数における最大の を終れるものと、では、新国会院立の が緩和されるものと、では、新国会院立の が緩和されるものと、新国会院立の は、大学であるが、新国会院立の は、大学であると

# 長春の首都景氣

## 二日間祝ひ拔く 奉天の新國家祝賀

2 【多文】 概る十日から三日間歌艦 名及電影等の手腕さ上係就は自 地立 される全南族に新國家の趣園を露 物車にて接しれたらと励動された を表の日本人族に於ても三月十日 ので係近も共意志に感じ無名にて の陸軍記念日さして最も意義ある 景領することにした 營口の新國家

## 安東の背後地研究に 調査員を派遣する

暴利を貪る商人が多

祝賀會

奇特な鮮人ら

奉天在住の館人は表別通譯官別十

を使じたので四日

増田署長の

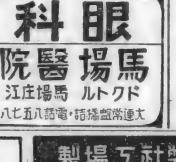
の紙を見たいさ、何時も心に思つ一程、その頃からあなたさ云ふ人 に思ってるるのでは、慰が何ん

吉川は難く考へてぬたが

けみは寒酸に一人ペンチの前 凹地の木輪を解って作えて











發展する湯岡子に 郵便局開設を希望

(四)

**満洲國建國を祝して** 

博覧會や開催する

今年秋、首都長春で

は面白くないさので病院や學校ので病院や學校 局長を訪へば 陳荆玉氏赴任

を徹底的に命令

前吉林管政府財以職長際原の東吉 に就いては既職の通りであったが 職長官は今間長官公署内高等職間 に低命したさ

首都の警衛 全銀江山に於て飛狩た飛れ総督を 室記総日常日午前八時半同校に集 会銀江和小學校では三月十日の陸 の見な 大和小學校

に際しての栄養に能る響である を無分離も現場げこれと合係する ではり巨頭連備洲國の各番都 である。 市年九川事態以來長登城内の管庫 ・ 大戦に公安局の内容し飛戦して公安局 ・ 大戦に公安局の内容し飛戦して公安局 ・ 大戦に公安局の内容し飛戦して公安局 ・ 大戦に公安局の内容し飛戦した ・ 大戦に公安局の内容し飛戦した ・ 大戦に公安局の内容し飛戦した ・ 大戦に公安局の内容し飛戦した。 ・ 大戦に公安局の内容し飛戦して公安局 ・ 大戦に公安局の内容し飛戦した。 ・ 大戦に公安局の内容し飛戦した。 ・ 大戦に公安局の内容し飛戦した。 ・ 大戦に公安局の内容し飛戦には ・ 大戦にといるを ・ 大戦にといるを ・ 大戦にといるを ・ 大戦にといるを ・ 大戦にといるを ・ 大戦にといるを ・ 大戦にといると ・ 大戦にといる

日本観及が支那戦の協力電人に緊 火事が多い 注意が肝要

下八名さ共に帯 

工會職所に於て、安東時局市民大 て管谷委忠會を障艦 民大會

通か別に続ってもあないらしいあ 即の解愛をうけてあたおよりの密をっけてもたおよりの密なってものおいのでは、 たやうに 男の心ないきながら、彼女はいただれる血の響きの中に、

続からペンチのあさな様 またここま

はなし、いや、その帰の概でのことなり、いや、その帰の概でいれようと思ひ定めたことなっている。 さら知つてゐるのだつた。男の體

模擬戰 合會へ 完全、書職は称八 にかて来る十 記念日露日の催 戦く口もさけなかつたが 戦く口もさけなかつたが 第二の機人 GID

手能を見たのですよ」。 「何うしてわなたは私の名を知つ て聞いた。あけみは は好な無味を聞えるのだつた。分はがな悪味を聞えるのだつた。分 を覧えたが、とから、あくまであけみはさすがに戦の戦へる

は飛天に於ける

地委聯

なめ五日午前九

林清勝氏

身を順はした。「何時頃の手紙で けみは大陰に男の扉に手をかけては誰も見てゐる者はなかつた。あればはなる。しかも、縁の聽に

熱してゐることが――皮膚 をはく恐怖に身を酸はせながら、 特には皮肉な笑を漏らしてゐた。 はつきりと解った。あけみは我に 講談俱樂部三川的滿州 少女俱樂部合門勢

火災、海上、運送、自動車

契約高多少に不拘御の話次第係員参上御相談申上ます 三井物產職大連支店

險

金金か大島地質店がおります。 中ッ能山高石 川<sup>ル</sup> 田久原 商商 洋商洋 文榮 探洋洋商洋 室店行行行行

(以下大連放送局より) ¥ 60.00 No. 60 高級瑞西ジ 月賦提供 工

ラツ 一回金御拂と同時に現品先波 シ ア蓄音器 發賣元

(218)

河野想多書

「より子さんさへ形如して「れ、いゝでせう」

記念日

「もう一年も同の手紙ですわ。父 云ふのですかし

「あの事他のことでも促か書いて

手織よ。程、あなただお二人の勝一の心の様でを知つてるめてお達びになつた直ぐ其の後の一ますとく違くなつた。 園のそばの形物屋と云ふ旋朧で掘っていいえ、およりこわなたが芝公

劇場從業員 四百名 を新聞したこれでは、 4川に集中 一同は四日安東地

いかは男の素性を知つた母の る。あけみは吉川を背後にかくも 「野くお賦りな

新しい燃を温

大連の会

放送り

る





聯盟總會

**安員會設置か** 

時五分で

るならばその 遺嫌の を表め を表め で表彰しなるも佐藤代表裏めて詩い を表め

般委員會

虚報を難詰

逸延し得す 

停戦調査に

「地間は私が酸つて聞きます。お一様を向いたお村へ云つた。

発位腫は冷やかに、沈默して

一不可ませんな」

豫備交渉は

排日を看過

人には當然

チェッ

コ

を事の必要なる場合に おいては 場合においては

依然停頓

【上海五日数】支那側は今がに至

参戦した總兵數は八萬

上海事件解決近づく 事代も起後経験決に述づく事となるの養物を食ふに至ったので、交

米も参加

見せすることも出来ません」

ですつて!地質を起に見せないん。 この家は表職――世間態を耐 一人は減まづきうに向ひ合って 佐藤代表態度賞讃さる

插書 伊藤 順 三 史 210

かけて行き、墨の有場所を指し

「結解の酔がありますかな」 「いや、あれは……いや、あの時 グットからざるか得なかった。武村は一部ら無かった。

「ちやアその地面を見せていたが 支那路で脳してぬるのであった。 さう武村は支那路で云った。

事种間のBが型子しながら至か 本のできる。

れたる感動者かねっ

Bこの

事務員路の對 務員Bの新話

兵の増加の場所 農機關紙論評

| 『モスクワ五日後』ソウエート政
| 旅は五千度ループシの内側(機管行

委員會散會後佐藤代表語る

惟威尊重强調

甲板で拾つた話

上海事变余、瀝

可吸の痛・運動散れなって、 乳のロッ・うちみの痛・薬 節 至治效素

# (日曜月) り 趣食の報告者なその全般に取り、 に取り、根語と満場のが計画に起ち に取り、根語と満場のが計画に起ち に取り、根語を表現のお言の継承を課題 が、表表している。 とのでは、これである。 に取り、根語を表現である。 に取り、表現である。 になり、表現である。 になり、またいである。 になり、またいでもなり、またいでもなり、 になり、またいでもなり、 になり、 になり、

敵の主

戦病院を南州に移じ附近の貧極支化上産五日参り福田〇郎は本日野

▲『今朝はすつかり参ってるだら

答になって荷物を指

**真茹無電臺** 

全~安全

民衆感激

皇軍の施療に

室 でかけい作出数のパリンシスコ五日数 世界 がの終めるダブリユーホール氏は融されて向の終めるダブリユーホール氏は融されて向のたさ報びられてゐる。同

支那へ向ふ 米の山師飛行家

これには驚きました。
「できるで祈物を据くなんて考し散せられるから、取様一時神への気体であったんですかられ、「果は無く、大権一時神への気体であるで祈物を据くなんて考し散せられるから、取様する種の

るかは今後大いに注意な要する虚 の支持を强調

對策に 我代表部

高府におけるな

「一字像線に土流口、1000年、

大福五二号 五二全総名が配集 を確し、 ・ 東版なし卒様、谷の歌は事かに歌 場を撮響し危敵院長に突めつくめ リ・ 奥新郷歌家は完全に保存されてるがオペレーター選走し新能 であるペレ

我守備線

整理完

病院船として

総別の記載が高い、過事質式に自己 動類の記載が高い、過事質式に自己 があった、覚極が高いのでなく虚

和する事を継野に使止すべし。 を有力者が私的の重除又は無限を が教は会然打破すべし、各省其他

この程をなて質解は上海で変かれてせら、でせら、でせら、間恋でせら、間恋でせら、

B『何ともありまんせんよこの証 ▲『野け惜しみをいふなく』

地久節一大連戦明、歌伝展女學校では六日地久部県でいた。
「大連戦明、歌伝展女學校では六日地久部県でいた。「大連戦明、歌伝展女學校では六日地久部県でいた。」
「大連戦明、歌伝展女学校では六日地久部県で

他者様族者に時間に脱りないで千種間で含四奏低官。同様漢者に列立既略に脱り取りにて時後の御かなられ午後一時には極度二位局を認め数にて時後の御かながあった。正午天皇院下、内親王賢下されて移動で含四奏低官。 同様漢者に列立既略に駆り取り

の飲河アーチも六日完成しアー準備を進めてゐるが日本側は弊

全部は夜の美観な添へるためイ

長春から京城へ

一千キロの蒲鮮新航空路

近く試験飛行を行ふ

恐ろとい程熱心な意象込みでそ

客と現骸してゐるとは事骸である

城内さらに館は大排底が楽し一室

首都オン・パレー

F

詐欺師

宿屋で逮捕

二萬圓の大

押し寄せる

ーチの電師かなし脱貨食場の電船の要所々々には大関旅の交叉やア 地国機販内目接の場所五個所に電 地国機販内目接の場所五個所に電 でには準備も総る等。この千載一 でには準備も総る等。この千載一 にほか市

新國家首都長着は九日盛典の単行 張氏が捧ぐる に三四人宛

から吉林、龍平村へ終て北京を覧 ・ は、龍平村へ終て北京を覧 ・ は、龍平村へ終で北京を覧 ・ は、龍平村へ終で北京を覧 ・ は、龍平村へ終で北京を覧 ・ は、電子では、一 な で は で は で は で で ま で で ま で で ま で で ま で で ま で で ま で で ま で で ま で ま で で ま で で ま で で ま で で ま で で ま で で ま で で ま で で ま で で ま で で ま で ま で で ま で で ま で で ま

『黄金の國璽 執政宣誓式の模様

して注目されてるたが四

野力とつゝあるので選くも四月二 野力とつゝあるので選くも四月二

のさ一概からか

春秋 の手に黄金の国置を探察し、執政 直播及び敷固の質証をなる響か 季哉者季哉長疑歌無氏より演像氏 保際條金その他歌感技会に検助し 間 の手に黄金の異なな探察し、執政 直に登表すると同時に執政就任の はこれを新国家の組織法及び人態 る【奉天電話】

背後に人

人物が居る

8

上下兩列車に挟まれて

保線區員の殉職

二世株地後殿に五日を報るもお行 一世株地後殿に五日を報るもお行 れてゐるが本日来国の十州電歌行 トレントで政府代義者さリンティ た、顔像娘の懐永京長のジョンツ た、顔像娘の懐永京長のジョンツ た、顔像娘の懐永京長のジョンツ リンデイ二世 誘拐事件 全~五里霧中 能成職務行門施を決定、日本航空」日連信局は三月十四日から二十五日連信局は三月十四日から二十五

色めく警視廳

滿御二十九歳の 「東京六日野」「駅場駅では販売祖」 「東京六日野」「駅場では政無の背後側がたる計画 がで起ひなぶべきでないのでも、 がで起びなぶべきでないのでも、 「東京六日野」「駅場駅では販売祖」 を 100 (乳紙とが)にあり止鳥から がなく観光とたものである 関連 とか (乳紙とが)にあり止鳥から がなく観光とたものである 関連 (乳紙とが)にあり止鳥から がなく観光とたものである (乳紙とが)にあり止鳥から がなく観光とたものである (乳紙とが)にあり止鳥から かなく観光とたものである (乳紙とが)にあり止鳥から 財閥を狙つた所が不審

小沼、菱沼ら五名で

東京六月費 大日は最后除下端河二十九歳の郷に蔵る 柳外出版さ地気能である、この日数点除下には午前十一時ローブモンタントの御髪がで腕が最近宮大夫情域女官長以下を といっませられ宮中棚の間に出砂数数の大郷間棚以下を大説、 といっませられ宮中棚の間に出砂数数の大郷間棚以下を大説、 といっませられ宮中棚の間に出砂数数の大郷間棚以下を大説、 といっませられ宮中棚の間に出砂数数の大郷間棚以下を大説、 といっます。

地久節御祝典

首相以下拜賀に参内

東京六日登】 

原本京六日登】 

原本京六日登】 

原本京六日登】 

原本京六日登】 

原本京六日登】 

原本京六日登】 

原本京六日登】 

原本京六日登】 

原本京六日登】 

原本京六日を 

の本語を表現るのが、 

の本語を表現るので、 

の本語を表現るの、 

の本語を 狙撃さ

組織してゐた血盟隊

ワ駐和獨選大使館泰事官が本日 相逝く れ四般の弾丸に

間を言って居る ★ご人以下家族並に三井監役以下 『東京六日教』五日通夜はよこ子 通夜、 政府の 二百人 た給つたなど出版 が呼ば危戦か近の御戦上に於て支流の居住保総區松戦上場戦務経路上

部だとく上りが車の機関士が登行ふた何所は関子よりは下りた

腦脊髓膜の流行 よく 患者すでに九名を出す 猖獗する

これぞ偽りなき名畵の眞價

値上せず州銭

二初日日

員

し御

趣申 ます



松森松 尾山井 文 保滿

3!





小映書影をひそむ・好評御禮・・・・と人気の中心・六社競映中の大傑作







に六日身柄が引売された、なは現一高飛びして楽作もので取押への電 高飛びして楽作もので取押への電 高飛びして楽作もので取押への電 た命賞さし言語巧に同人な欺さ之のなの質点に放て欠人より作用の軸頭時 京城に放て欠人より作用の軸頭時 なれたの ひ

天野〇團主力

六日朝寗古塔へ進發

院住殿際堂は阿片姫館の禁鬱の

11幌五時頃西南方にむけ春晴したが 終百齢からの大部脈が経済したが

人三田谷には除郷海山の機様であ

語るとれないであっ

白壽山

匪

北西の風・晴一時曇

天氣端就

双城二出沒

が三名は辺関より他は裏口より蹴一大番地食料品店顧田融店に何れも 全 製紙所持せる六人棚の支那人強盗 で 家人を縛り上げ 現金三千圓を强奪逃走 奉天松島町の六人組馬城 ス 人と家人な練り上げて他道の上現 では目下全力を駆け犯人敷郷中 では目下全力を駆け犯人敷郷中 電点は | 双級版の北方に大声版日で同駅と計算では | 大声版を | 大声版を | 大声版 | 三十九名を | 記述 | 大声版 | 三十九名を | 記述 | 大声版 | 大声

献治力も同地に知道:

野したが心々天野の かは指揮の部隊は が心々天野の

〇〇隊長の指揮

大学に関係を強います。 一般人するので近戦者に迷惑でかけ、 一般人するのでがサルリの午後八時五 を要称を強く立ちまらんさしたので戦後でかけ、 から以て野郷氏の戦部に切りつけ、 からいたがして野郷の後で全 がかいして野郷氏の戦部に切りつけ、 からいたがして野郷をしたので戦後できまり、 であるがは、 からいたがけんりの年後八時五 であるがは、 からいたがけんりの年後八時五 であるがは、 がは、 がいた。 であるがは、 であるがは、 がいた。 であるがは、 であるが、 であるがは、 であるがは、 であるが、 でっなが、 であるが、 であるが、 であるが、 であるが、 でっなが、 でっなが、 でっなが、 でっなが、 でっなが、 でっなが、 でっなが、 でがなが、 でがなが、 でっなが、 でがなが、 で

氣の毒な女給

方委に救はる

さいつてあるさ

鐵兜七百四

十個を献納

には管禁制では強大な繊維なる全く五里野中である。なほ

年

一が満の

高側である

派遣警官除

京城一通過

機能七百四十個を敵権とた政権と

【公主篇】 郭家店北一條第一丁目

遼西

の討伐を完了して

阿片窟

の主人 刀に殺さる

苦

七 和

部下の兵變は 申譯がな 異古塔で 趙芷香と語る

> 使のため一時滅 |大石橋||松松|

第二郎第二宮安陸軍 福田李石家に向け出妻の豫京であれたるものと如く牛在 臨時列車にて飯日都除さ共に派天で大きものと如く牛在 臨時列車にて飯日都除さ共に派天で大きものと如く牛在 臨時列車にて飯日都除さ大利線である。

喜びの爆發に

湧き返へる長春

東京城特権六日襲出端家新國家の 電はり満洲に遊遊される智管隊官 三十名は豆綱亞原職簿事物管引擎 で下に五日夜入城二街の後入日午 の下に五日夜入城二街の後入日午

大連では京殿維路駅線製手の配い古城駅偏常四起と変換へた新し宿屋で遠捕した可含都の前には木の香と新らし 「一下では、
 「一下では、
 「一下では、
 「一下では、
 「一下では、
 」では、
 では、
 でも、
 では、
 では、
 でも、
 では、
 でも、
 では、
 でも、
 では、
 では、
 でも、
 では、
 でも、
 では、
 では、
 では、
 でも、
 では、
 では、

 では、
 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

 では、

で一千名餘あるが住民は帰の短く をせて全市な機構が設置な流布と ませて全市な機構が設置な流布と をはて全市な機構が設置な流布と である、王徹林氏は場臓が集合と

名(治野帝〇門

撫 順附近の匪團

鎭江の新橋梁 と飛機の歴域を受けて戦墜に大被 製井子南方に於ける距戦戦を攻撃 が成態の意を決し二日以来を決議 がは、一日以来を決議 「無」に続いては最近的近 ける匪賊戦を攻撃を攻撃を

四月二十一日に渡初め **吨及び大旬子附近の頭目脳型洲以** 窓なあたへた、更に近く東が特氏 徹底的に討伐

十時、小窓ボ子に五時、民官屯西時、非山屯に称三十時大窓ボ子に 大商同窓生懇親會

在野町帝國隸前 清月 七次七四〇七七

が、ますさして撃撃が院に収容される情がりに依つてこの四日から施 の情折りに依つてこの四日から施 の情折りに依つてこの四日から施 々無味か見舞り自ら響師に交渉! 発情元能氏は除りの無の載さに いってるたソレか見影れた神流の では強力ある著なく耐ら層師は鍛設派を来めたが一二個の診療投棄 危険に図るので方頭委員山沿かでこの鑑放任する時は生命 台灣一本二十錢 毎度は引きを蒙り

百聞は一見に如かす乞御來談が(仲介謝絶)

河口京町七二

九二五六

當方獨占的確實なる事業擴張のため

らず疾患日に重く激起なる疾痛な よんだ、イトは貯金なくいのも来 よんだ、イトは貯金なくいのも来 鎖街が玉カフエー女給後藤

御考へに成られて居らるゝ眞面目なる御方の御出資を仰ぎた五六千圓程度の遊資を御持ちに成つて何か確實なる事業をと

内の一室に茶場を載け開来が同の一室に茶場を載け開来が

頭痛ニノーシン・

野帽子店

東洋映畫職講習會

進級學生帽子特價提供 中學生向

いりと新荷

話の 心題

X

映書館

拳銃の出所

并商店

込み合ひます

三日大公開 門 漢共子草并體。清 田澤 錢」 演共維春中田·代香川市

RÎ

X 27 四日 ・ボウが私達に甘く 彼女は関係さしての任務を書つた。だが女は 々ロボットではない。 横坂さ罵られ。 裏切者さ 村 貴められても。 資赤な場に生き度いのだ! 封 スタンメークは通り一遍のロマンス作者では 切けいのだ。

嗪振 の物本がれこ日 より 三彈肉烈忠 

> 英國ターナーアスベスト會社製ローヤルジョインテング低度、高屋用スーパーヒートパツキングロモトパツキングロボースーパーヒートパツキングの一名パルメットパツキングの一名パルメットパツキングの一名パルメットパツキング デ保温筒を種、不経製品のキング製造所製 定

> > 商 兀 大 連 榮 町 **元3887.5798番**

油醤ノマーコッキ

で 六五五百番

**物新棋戰**[三]

~立確の則原理料 望待の等我

間課

今春流行の

澤山入荷致しました

9

粧品

6

電話六六〇六番

連

小寺藥

局

但馬町西廣場上

キング材料

映 X 樂二 館七

中央映画館

帝國館

终于四

眞に麗

か

感な

春

0)

11

字

本少女歌

**內**彈三**勇士** 

强

版 寶 店 上

黑音然

屋。紫光、古

0

藤馬は強い

可通過洲牆洲

大連市西邊(常盤橋西広播中間) ·雷部六七五二番 -

古への奈良の都で手工資年の歴史を持つ有

製

を

金鳳堂各書店

ゐで供

品念し

石界の関祖 南満大理石工場 大連市工場地区会井町五 大連市工場地区会井町五 百般 聖

庭 向 0 温海庵

崎 のて來たのである。
日態度に潜む場、排日運用を除去せねば真に其の場が、非日本の

寫

その他総ゆる手段と方法を以て侮日に如何なる手段を以て宣傳をなしたかっこれまでのこれまでのよった。これまでのは、然れぞ絶えず惹る排日の裏面

ビ運の求う動目む には的る

本為異帖はこれを廣く牧業して特に時局の記念に、或は研究材料に供すべく、オフセット刷り四六倍九十六頁に收めたる内容豊富なものでるけど超大なる好評を受けてゐる。 本社、各販賣店、大阪屋號、斎書堂、金鳳堂各書店 取 扱店 地方 満日支社、支局、各販賣店

みコタののバ 中途半端は いやなこと 中途半端は いやなこと 歯感える

本日の番組四川より 本日の番組四川より 大阪 四 拾 銭 数 か アバートの 姫君 アバートの 姫君 アバートの 姫君 アガールのオハナシ 続

0

君律 化粧品

は名姚論名方面から北西に大くに北西を見てシゴールを解釈を明せられたのでわります。

ブラオン銀の驚異的發見

絶對安全な局所療法

淋病は内服薬で治ら

報

H

0)

# 先生の努力

#### 帝 國醫 科 大學 旭 憲吉博 士 0 發

る内服資薬に頼り、 今まで淋病薬で、 質に氣の毒に堪へぬ次第であります。之れ一つは從來淋病治療に對する信頼すべき特效薬がなかった無阻にもとづくものであります。 病に感染して、 發見と稱するものは多数ありますが真に學術的に見て醫學上の新發見なる言葉を許し得る治淋劑は発どありませんでした。 疼痛排煙等が止まれば、全快と誤認し、その儘放任してゐる內に再發又再發を樂区して、鄔てまや解までおより:贈りて、一定の期間を經過すると自覺症狀が少なくなり、爲めに雜務に追ばれ模治する事の出來ない姑息的な手段を選ぶやこ、一定の期間を經過すると自覺症狀が少なくなり、爲めに雜務に追ばれ模治する事の出來ない姑息的な手段を選ぶや 全快と誤認し、その儘放任してゐる內に再發又再發を繰返して、順では淋病は不治なりと請め、 うになり、迷に多数あ る人が餘りにも多いの ずは何等かの機會に

をあるしのは、低齢の説によりますま「内心薬で今日最し多く用ひられて店を設定するとのは、低齢の説にパルザム館、ザロール、ヘルミートール等を動力を解験力を解析するものに繋ず、際に救眠を減じ、分泌解を減少しな、残余を一時治つたやうな時度になすばかりで、つまり複数は、おきして前部繋がお野さなつてあるもので、個等新しみとは、おきして前部繋がが設定されて店り、滅に常定すべきを設定して、対象を一時治つたやうな時度になすばかりで、つまり複数には、おきして自治の影が治のでも複数をではないので、一般を表した。 、 九州帝國大學醫學部の地博士が、學界に數表せられた所說中に 「概頼は内服家のみによつて全治するものに兆す、凝然なる観響 れて居りますが、これ裏に學衆派來の動かすべからざる、宗説されて居りますが、これ裏に學衆派來の動かすべからざる、宗説されて居りますが、これ裏に學衆派來の動かすべからざる、宗説されて居りますが、ませる。 ともても観響の經路能なるに触する振修であります。 研究の一室部銀

たる製作を発音を動物を発音を

数点者離れる。

麗前士 山

田書

が山麓し、御職来を回よりは脱っせや消炎が総雑する有様で成事が山麓し、御職来を回よりは脱っせや消炎が総雑する有様で成事が山麓し、御職来を回よりは脱っせや消炎が総雑する有様で成事が山麓し、御職来を回よりは脱っせや消炎が総雑する有様で成事が山麓し、御職来を回よりは脱っせや消炎が総雑する有様で成事が山麓し、御職来を回よりは脱っせや消炎が総雑する有様で成事

これが安全に豊の危險なく、直控局所に作用して減酷を死滅せていた。 これが安全に豊の危險なく、直控局所に作用して減酷を死亡に、 政に合共減器資銀で、 成子フォン数を結婚の所説にを然合した、 政に合共減器資銀で、 成子フォン数を結婚の所説にを然合した。 政に合共減器資銀で、 成子フォン数を結婚の所説にを然合した。 政に合共減器資銀で、 成子フォン数を結婚をしていた。 政治の時代を宝つて注入数の時代に使用して減酷を死滅せ で、完全に使用一融価にメーと自動級にも効果を駆け得るという。値かつ・五水池の・八で十分尿道を腰に作用する事になるもので必慮が微楽の扇。所、敷、治療を鶏る盛で、要するに事になるもので必慮が微楽の扇。所、敷、治療を鶏る盛で、要するにサンゴールは注入すると云ふよりも終みを脱されるを下で、安するになった。 

効

カ

0

型海士 北

非

幾

さなり、その治療しせよ治療になった。保はもきものいある。全は今日まで、のでは今日まで、大清し得るものがない。他に登録されて見た、供いる。なば今日まで、大清し得るものがない。

の療法と各人各標であって生息能、 を ンゴール」の情報によって少くさ と これでいる。然るにこの「ケ と これでいる。然るにこの「ケ と これでいる。然のによって少くさ と これでかる。 と この 「ケ

に激怒しついあつたものは態度が対象さして極々あるが音々は未発ががあるが音々は未発ががあるが音々は未発が

猛烈な淋菌を根本から死滅せしむる

究所養體のプラオン戦ケンゴールは、戦年の間佐藤生生皮臨床替作人に経際になく、反つて之等体養症を験別と得るのであります、前衛就のであります、前衛就のしてものであるから、洗着氣等の蛇とっ談を表に、凝藍ル後部に送入しのであるから、洗着氣等の蛇とっ談を共に、凝藍ル後部に送入しのであるから、洗着氣等の蛇とっ談を共に、凝藍ル後部に送入 醫 豫想以上の成績 0) 權

低を貼て焼金ないので、多い

のらん事な様に保証を献上る大館であります。 を動の患者に影戦の上効果、歌作用等の転は、だから、郷野は経路に能信な得て最表したのでありますから、郷野は経路には他の患者に影戦の上効果、歌作用等の転は、だか

威

だって今日までは なくそれ以上のがか なくそれ以上のがか なくそれ以上のがか 



中心 **边藤英三郎** 

◆難症が廿日で全治

宮城縣白石町 茂作

すから教賣元へ御申込下される本に無機成ある専問将家の『林病 がと治療 とい

年5引等郵便にて御送架映上帳 次に友人の知合の岩者、急性構 の事にて、小生へ豊同計り にて選択、御多用中判述感 が、御多用中判述感 が、の事にで、小生へ豊同計り にて選択、第5自宅無法致と居り が、の事にで、小生へ豊同計り

する水像です。 文· 東京市芝属三田通新町十三番地 東京市芝属三田通新町十三番地 白東

●拭ふが如く

せられば和六年通俗醫學 (粒は於鼠四頁) の記事で淋菌を根本から死滅せしめる。ブラオン鉄』の發理部推覧として五旦に亘って淋疾を根本から治 『ブラオン銀』ケンゴールの發見として發表卓効ある。ブラオン銀』ケンゴールの發見として發表せら、は八紫婦人公論及び中央公論に代草効ある。ブラオン銀』ケンゴールの發見として發表せら、は八紫婦人公論及び中央公論に代 療法として發表せら、尚紹和宗辉現代及で雄辯等に代理で、ことして五頁に亘つて發表せられる別宗解講談俱樂部及の富士等つ記事にプラオン銀のケンゴールの合理本剤一度發見せらるうや四別等婦人俱樂部(類)八五頁四頁)の記事で効り絶大なる『ブラオン銀』 に五頁に亘る記事で本病を完全に治す『ブラオン銀』ケンゴールの發見さらて發表せられば和奈里で淋疾治療に偉大なる效果ある『ブラオン銀』發見として發表せられ、昭和奈興康の友[祖]四頁] 見として微賞に次ぐに微賞を以て發表せられ、昭和六年經濟往來(至一四頭四頁)に亘る記事を以 激質を重ねられー記事を發表せられが用於文或春秋及ガーに 資物號 (祖三次門)の記事で淋疾に 西川縣主婦之友(四頁)に於て洪病治療に强大なら效果。 ノラオン銀』の發見として激質に

臨床醫家は

如く證明す

が如き詐欺的作り事でなく一字一句が原文の儘であります。一々掲載出來ませんが左に掲ぐる書紙は名前以外は巷間にある日々机上に山積の有樣であります。紙面に限りがありますので發表後間もないのですが、全快の感激に満ちたಿ狀や感謝狀が ◆同病者の友にも

政は貨幣にては